

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0 / A ¥ 1 8 9 0 / B ¥ 2 0 5 0 / C ¥ 2 2 5 0 / D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/~tambouri/order>

[CD/SCANDINAVIA]

- *ODE: Och Hela Varlden Den Log C
(Ode はスウェーデンのトラッド系生え抜きのミュージシャンのトリオ。その三名はニッケルハルパ奏者として内外で数々の賞を受賞し、チャレンジ精神旺盛なミュージシャン、シンガー、ダンサーの Emilia Amper [ニッケルハルパ、ヴォーカル、パーカッション] と Ale Moller Band や Sofia Karlsson のバックミュージシャン等で活動する Olle Linder [ギター、パーカッション、ヴォーカル]、そしてマルチ楽器演奏家の Dan Svensson [各種パーカッション、ギター、口琴、ローホイッスル、フルート、ヴォーカル]。スーパー・トリオが創作する音楽は、スウェーデンの伝統音楽にアラブ音楽、中世音楽、ジプシー音楽 + α を混ぜた異種交配音楽。2013 作。Gammalthea)
- *BLINK: Blink B
(Blink はフィンランド、スウェーデン、エストニア、デンマーク、ノルウェー出身の女性 4 人組。4 名のヴォーカルと各人がニッケルハルパ、カンテレ、フィドル、オートハープ等を演奏。基本的に北歐的に素朴な伴奏による素朴で美しくまた力強くもあるシンキング & ハーモニーが素晴らしい。Produced by Maria Kalaniemi。2011 作。NORCD)

[CD/LAPLAND]

- *INGA RAVNA EIRA/BIRET R. SARA/R. A. GUTTORM: Gilsu/Skilfu C
(副題 "Electric Jazz Yoik Poetry"。二人の女性ヨイク・シンガーと一人の女性の語りによるアグレッシブなヨイク音楽。音楽は語りを中心にしてヨイクがバック・ヴォーカル、或いはコーラス、或いはソロ・ヴォーカルのように共演し、二人の演奏家が土俗的で妖艶なサウンドで包む。音楽の核に従来ヨイクの呪術性が脈を打っていて、その革新志向の音楽性と相まって圧倒されてしまう。2012 作。DAT)

[CD/ICELAND]

- *OLOF ARNALDS: Innundir Skinni A
(新たにデザインされた Olof の顔が表紙の特製ジャケット装丁。ケースを外せば元の装丁。本作が二枚目という不思議な魅力のアイスランドの女性シンガーだ。Olof のうたう声は今にも消えそうなか細い声で、気まぐれそうな独特の唄は、Vashti Bunyan や Tony Kosinec とイメージが重なる。"Surrender" という唄ではアイスランドの鬼才シンガーの Bjork がゲスト・ヴォーカルで、呪術的ムードを振りまき、極北的神秘性を極めてもいる。唄はアイスランド語と英語。極めて稀有な魅力の愛すべき SSW だ。2010 作。One Little Indian)

[CD/DENMARK]

- *HARALD HAUGAARD: Lys Og Forfald C

(デンマークのフォーク界を代表するフィドラーの H. Hugaad の新作。全曲自作曲か誰かとの共作曲。2009 年作の“Burning Fields”路線の創作意欲旺盛な音楽的な音楽。デンマークのフォーク・ミュージックを自身の帰るべき音楽としての味わいを保持しながら、そこから羽ばたくように心おもむくままの音楽を奏で通している。ジャンルで締め付けることの出来ない自由な音楽だ。ゲスト: Roger Tallroth。2015 作。Westpark)

- *HARALD HAUGAARD: Burning Fields B
(トラッド、ジャズ、ロック、ハードロック、クラシック等等、好きな味付けで、自由自在にフィドルを演奏しまくる。おまけにデンマーク随一の歌姫の Helene Blum の美声を 2 度も活用してもいる。創作意欲満開の多才で多彩な Harald の百花繚乱音楽。w. Helene Blum, Roger Tallroth, Tapani Varis, Rasmus Zeeberg, Sune Rahbek, etc. 2009 作。Pile House)
- *LYDOM & HOIRUP: Svip Svap Svovlstikke B
(兩人ともデンマークのフォーク・シーンではヴァイオリンの、片やアコ&ハーモニカ奏者の Sonnich Lydom と片や世界的ギター奏者の Morten Alfred Hoirup のデュオアルバム。本作は Lydom が見つけ出したデンマークの伝統曲を中心に選曲で、軽快なダンス曲を中心に中世風ダンス曲等を多彩に演奏する。2010 作。Go')
- *HAUGAARD & HOIRUP: Rejsedage / Travelling D
(7 度もの賞受賞のフィドルとギターの二人組の結成 10 周年記念 CD/DVD セット。Hugaad の家の森の中で収録された本作は半分がデンマークのトラッドで残り半分が二人のオリジナル。デンマークのフォーク・ミュージックの発展に貢献してきた名演奏家二人による数々演奏はルーツ回帰的で美しく、そして華やかである。故郷の音楽と旅の記憶を心で奏でた素晴らしい音楽。w. Tapani Varis, Sonnich Lydom, Sune Hansbaek。DVD は PAL で 2007 年のコペンハーゲンの小さなカフェでのライヴで 38 分とインタビューが 41 分。英語字幕付。2008 作。Go')
- *HAUGAARD&HOIRUP: Gaestebud/Feast B
(Hugaard&Hoirup の本作は欧米の音楽仲間達 [Sofia Karlsson, Ale Moller, Le Vent Du Nord, Alasdair Fraser, Natalie Haas, Karen Tweed, Helen Davis, Eileen Ivers, Karen Mose&Helene Blum, Niall Keegan, Channe Nussbaum 等] をゲストに迎え、ある時は彼等を立て、ある時は彼等と競演し、音楽を楽しみかつ新たな友情的交配音楽をごく自然に流れるように生み出している。2005 作。Go')
- *HAUGAARD&HOIRUP: Let's Dansk! B
(Hugaard&Hoirup の 2001 年のドイツでのライヴ。フィドルとギターとでデュオ・トラッドの素晴らしさを生き生きと楽しませ味わわせてくれる最高のライヴ盤。全 15 曲。ハウガ-のフィドルは既に天下一品! 英語曲目解説付。2001 作。ドイツ Stockfish)
- *HAUGAARD&HOIRUP: Lys B
(勢いデンマークのトラッドにフィドルとギターで挑んだデュオ・トラッドの金字塔的傑作。曲目英語解説付。2002 作。Go')
- *HARALD HAUGAARD・ANDERS MOGENSEN: Spirits B
(H. Hugaard の本作はヴァイオリン・ジャズ・ドラマーとの共演。デンマークのフィド

ル曲や中世バレット等デンマークのフォーク・ミュージック中心の選曲。実際には Anders のバンド 仲間のギターとダブルベースも参加し、Harald&ジャズ・バンドによるダンス・トラットと言えるもの。2004 作。Go')

*AFENGINN: Akrobakkus A

(ハルカ音楽っぽいのやクリスマスっぽいのやジプシー音楽っぽいのやウライ音楽っぽいのをちゃんこ鍋にして煮込んで栄養満点のご馳走音楽を創作。2005 年の "Danish World" 賞優勝。2006 作。Tutl)

*EIVOR: Live A

(フェロ諸島の歌姫 Eivor Palsdottir のライヴ集。Eivor はアイスランドの音楽賞 3 部門入賞やシンガー&ソングライター・コンペティション優勝等ワールド・クラスの女性シンガーであることはご存知の通り。本作は 2009 年 10 月の東京でのライヴを含む様々な場所でのライヴ集。妖精に最も近い感性を持つシンガー。2009 作。Tutl)

*KARL SKAARUP: Musiker A

(fRoots 誌で絶賛した評者だけではなく、この 85 年の音楽人生を数える 85 歳の老人の若々しいアコーディオン演奏には舌を巻く。この歯切れのよいリズムが何とも気持ちいいし、長年ダンスのための音楽で培った自信のようなものが一音一音から体感できる。孫の年齢の Kristian Bugge がフィドルで一体となった演奏を繰り広げるが、音楽には年齢差は一切ない。P20 の英語ブックレット付。2009 作。Go')

*ESKIL ROMME: Himmerlandsmelodier A

(1982 年からデンマークの田舎で農夫をしながら音楽生活を愉しんでいるというソプラノ・サクソ奏者の四季折々の風薫る音楽。西風や野原や生き物や家族や旅や春夏秋冬等からイメージーションを膨らませた音楽。本人は Karen Tweed {イングランド}, Morten Alfred Hoirup {デンマーク}, Avi Solomon {カナ}, Ditti Fromseier {デンマーク}, Peter Rosendal {デンマーク}, Andrzej Krejniuk {ポーランド} 等の客人を迎え、共に演奏すりことを愉しみ、客人達は Eskil のサクソから生み出される音楽の風景を共に愉しんでいるかのよう。心優しい音楽。2009 作。Tutl)

*SERRAS: O B

(Herald Haugaard {フィドル}, Hans Mydtskov {サクソ}, Sune Hansbaek {ギター}, Sune Rahbek {トランプス}, Mads Riishede {ベース} のフォーク・ロック・バンド。彼らが創作するフォーク・ロックはどこか北欧独特なメロコリクさを漂わせ、地響きするほど重厚。夏の開放感ある北欧の音楽とは対照的な冬の間の憂鬱さのようなもの感じられるもの。2008 作。Go')

*SERRAS: Secondhand B

(Herald Haugaard もメンバーの Serras の 2001 作。横綱級フォーク・ロックで圧倒する。マルチメディア機能付で、CD-ROM にはコンサート・ビデオ収録。Go')

*ANJA PRAEST MIKKELSEN: Hemmeligheden/The Secret B

(女性クラリネット奏者 Anja の本作はその響きからクリスマス・クラリネットの響きと重なるが、よく聴けば、生み出される音楽は詩情豊かで、音楽はデンマークのダンス音楽の範囲の音楽。彼女の両親はフォーク・ダンサーという。完全な独奏はなく、フィドル、ピアノ、フリューゲルホーン、アコ、ギター、チェロ、タムなどとの共演で、繊細で瑞々しい女性的な感性が全編に行き渡った品のよい曲集として結実している。2008 作。Go')

*BALTINGET: Alive B

(フィドル、アコ、ギター、ベース、パーカッションの今最も勢いのある5人組ダンスバンドの本作は古い楽譜集などから見つけ出したダンス曲などを生き生き踊れる曲に蘇らせている。これぞデンマークのダンス音楽。イングランドなら Old Swan Band かな。2008 作。Go')

- *POUL LENDAL: Onskebarn B
(この P. Lendal なるマルチ・インストルメンタリストによる本作のスケールの大きさには恐れ入る。フィドルが一番の得意楽器のようだが、アコーディオンやニッケルハルパ【と想われる】やカテルや口琴等をフィーチャーし、トラッドのグルーブ編成で繰り広げられる音楽はデンマーク〜北欧のダンス音楽やトラッドの薫り濃厚。w. Karen&Anna Mose, Morten Alfred Hoirup, Bitten Lendal, Keld Norgaard, Carl Erik Lundgaard, etc. 全 22トラック。2005 作。Go')
- *BONEZONE: In Session B
(ZAR や Moving Cloud のメンバーがコペンハーゲンで出会って結成されたアイリッシュやスコティッシュをベースにするデンマークのバンド。ヴォーカル&ホーンズの Yirdy Machar はスコットランド人。Yirdy のホーンズがほぼ全曲で打ち鳴らされていて、心地よいバッキングとフィドルの響きと共に田舎っぽいといつかのほほーんと心地よい音楽を風のように演奏する。数曲でヴォーカルを取る Yirdy のヴォーカルは渋いの一言。2007 作。Go')
- *KIRSTINE SAND: Det Dansende Par B
(Carl Nielsen Academy of Music 出身の若手女性フィドル奏者の瑞々しいデビュー・アルバム。2007 作。Go')
- *KRISTIAN BLAK&YGGDRASIL: Askur C
(1981 年結成のフェロ諸島のジャズ・ロック・バンドの新譜。2 枚組。1982〜2006 年の間のライブ音源からの編集盤。5 曲で Eivor Palsdottir がヴォーカル担当。2007 作。Tutl)
- *FAERD: Faerd A
(Back In Stock。Karen Tweed と Ian Carr を含む 5 人組の 1 枚目。英語解説付。2002 作。Tutl)
- *FAERD: Logbok A
(デンマークのフィドル名手の Peter Uhrbrand にアコーディオンとサクソとヴォーカルの Eskil Romme そしてスウェーデン人ギター&ベース奏者で Trio Mio の Jens Ulvsand のトリオ。フェロ、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、オランダ、シエラ Leone、Karen Tweed に捧げた曲や Karen Tweed に教わった曲等フェロ周辺の音楽を前作同様波に揺られるように心地よく演奏する。圧巻はゲスト・ヴォーカルの Julie Hjetland の 2 曲。2006 作。Tutl)
- *TOVE DE FRIES&MALENE D. BECK: Balance B
(フィドルとピアノによる優雅なダンス曲やケープ・ブレトンスタイルのダンス曲等など軽やかに演奏する。フォーク・ダンス・ファンにはくすぐられる音楽。2003 作。BAL0103)

[CD/SWEDEN]

- *JONAS AKERLUND AND JOSEFINA PAULSON: Natt Och Dag C
(Jonas Åkerlund【フィドル、ハルディングフェーレ、ギター、シタン、バグパイプ】と Josefina Paulson【各種ニッケルハルパ】の二人組の二枚目。前作も極北的な美しい音楽に静かに狂喜させられたが、本作でのニッケルハルパとフィドル/ハルディングフェーレとのデュエット演奏は、

- 深くスウェーデンの伝統音楽に根ざしつつ、イマジネーション豊かな音楽を奏で出していて、静かに、深く、心に響く。大事に大事に耳を傾けたいスウェーデン生まれの心の音楽。2015 作。Nu Trad)
- *KRAJA: Hur Långt Som Helst C
(Lisa Lestander, Frida Johansson, Eva Lestander, Linnea Nilsson の四人の歌姫によるヴォーカル・グループ “Kraja” の四枚目。2005 年のデビュー作以来、北欧的美意識に彩られたポリフォニックなハーモニーで定評の彼女達だが、本作では以前にも増して、繊細に優美に磨き抜かれた美しいハーモニーを聴かせていて、お見事。フィドルや吹奏楽器が伴奏で入る曲もあるが、ほぼ全曲が無伴奏のアカペラ。Kraja のアカペラはアカペラそのものが音楽。2015 作。Westpark)
- *ULRIKA BODEN: Ratt Nu Ar Det Pa Tiden A
(Ulrika が個人的に影響を受けたフォーク収集家 Frans Bergvall {1903-95} と古代の歌唱スタイルを受け継ぐシガ-の Karin Sikstrom {1899-1981} の二人から学んだ伝承歌集。2004 作。Drone)
- *DRAUPNER: Halsingland C
(Henning Andersson {フィドル}, Goran Antonsson {フィドル}, Tomas Lindberg {ギター} の男性三人組の Draupner の本作は彼らの出身地「ハルシングランド」をタイトルにしたアルバム。二台のフィドルと一本のギターが紡ぐ音楽の何と美しいこと！雪が舞う音楽というか、雪の結晶のような音楽というか、二台のフィドルは絡み合いながら北欧のダンスのリズムで舞い踊りするのだが、その演奏の緩急が見事で、勢い北欧トラッドの極めつけの美しさを描ききっている。2013 作。Dimma)
- *SIMON SIMONSSON, OLLE SIMONSSON, KJELL-KRIK ERIKSSON & JOEL BREMER: Pigtjusarsvang C
(1945 年、1947 年、1971 年、1978 年生まれのフィドル奏者三名とヴァイオリン奏者一名の偏った編成のスウェーデンのダンス音楽グループ。四人の楽師が奏でる音楽は彼らが普段の暮らしの中で、愛し、楽しんだダンス曲。味のあるフィドルの音が最高。2013 作。Dimma)
- *ANDERS THUNELL & OLAV L MJELVA: Uppspelt C
(1981 年、スウェーデン生まれの 5 弦フィドル奏者の Anders Thunell と 1983 年、ノルウェー生まれのフィドル&ヴァイオリン奏者の Olav L Mjelva {Nordic Fiddle Bloc のメンバー} の二人による孤高の二枚目。本作は、今現在 Anders が住むスウェーデンのヘリェーレン {Harjedalen} 地方のフィドル・ミュージック。二人のフィドル・ミュージックは終わりのない音楽にも聞こえる。美し過ぎる。2013 作。Dimma)
- *TRANOTRA: Trading Nordic Tradition C
(スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマークの四名 {一姫三太郎} の若者による汎北欧トラッド・バンドの爽快デビュー作。楽器編成はフィドル二台、アコーディオン、クラリネット。この四名、若造だからと言って馬鹿には出来ない。いやはや北欧トラッド風味溢れる爽やかな音楽は物凄く気持ちが良い。即席のバンドで、音合わせ程度のレベルかと思いきや、複合的な演奏の妙技が素晴らしく、しかも音楽がタイト。クラリネットの低いリズムミカな音が結構面白い。2013 作。Gammal thea)
- *HOVEN DROVEN: Rost C

(Hoven Droven の 2011 年作。Kjell-Erik Eriksson のノイズなフイドルが
天空を翔け、サクス、エレキギター、ドラム、ヴォーカル等が熱くロックする。彼ら
のこの醍醐味は不滅とってしまう高潔なスウェーデンスタイルのフォーク
ロック。2011 作。Westpark)

- *HOVEN DROVEN:Hia Hia (94 作。Xource) A
- *HOVEN DROVEN:Hippa A
(Hoven Droven の Great な 2001 年作。Home)
- *HOVEN DROVEN:Turbo (Great!2004 作。Home) C
- *FURSTENECKER NYCKELHARPA CONSORT:Carpe Harpam A
(国際ニッケルハープの日にドイツの Furstenecker 城でのライブのために結成
された 7 人編成ニッケルハープグループ "Furstenecker Nyckelharpa
Consort" のコンサートライブ盤。ニッケルハープの演奏だが、曲目はスウェーデン、
イタリア、フランス、ドイツ、オーストリア、ベルギー等の 16 世紀以降のクラシックの作曲家
の曲や伝統音楽+ロックバンドのメロディの "Nothing Else Matters" など。
どちらかと言えば、ハードロック〜クラシック音楽を聴く感覚。2010 作。
Tongang)
- *GROUPA:Lavalek B
(Sofia Karlsson がヴォーカルの Groupa の 99 年作。全てが完璧。魔性をも
秘めた理想の北欧トラッド。Xource)
- *GROUPA:Fjalar B
(Sofia をヴォーカルに据えた Groupa の 2002 年作はスウェーデン・トラッドの
奥行き深く、清新なスピリットみなぎる無敵のトラッド。大地をえぐるよ
うな渾身の演奏と美しく大胆な Sofia のシンギングは先人達の霊でも
憑依しているかのよう。北欧トラッドの傑作。2002 作。Xource)
- *CHRISTER LUNDH:Di Gamlaste Bidana B
(1962 年にテープレコーダーを買って以来、老人の唄や音楽や語りの録音
は何百にもものぼるといふ。Christer は伝統歌や数百年前作曲の唄
等を微妙にトーンを震わせて、うたい聴かせるようにうたう。この震
えた感じと穏やかな歌唱がムソッポイといふかスウェーデンの古謡の
不思議な魅力を生んでいる。様々な古びた唄が Christer のぬくも
りのある唄を通して、魅力的な物語歌へと変身を遂げる。2009 作。
Nordic Tradition)
- *ERIK ASK-UPMARK:Himlens Polska B
(Svanevit のハープ奏者の Erik は本作で北欧で失われたハープ・ミュージック
の復活を試みている。スウェーデンのホピュラーなダンス曲を中心に古い教
会音楽や古いフイドル音楽等をケルトのハープとは一線を画す北欧的美意
識に律せられた素晴らしいハープの演奏で魅了する。北欧のフォーク・ミ
ュージックに根ざした珠玉のハープ・ミュージック。2007 作。North Tradition)
- *MIKE MARSHALL & DAROL ANGER WITH VASEN B
(M. Marshall {マントリン}&D. Anger {フイドル} とスウェーデン屈指のトラッド・トリオ
の Vasen との共演盤。は強烈。Vasen の音楽を核に、Mike&Darol が巧
みな演奏で彩りとエフェクトを注ぎ、多彩で多重な音楽を創作し、その
高度なレベルで持続し続けるテンションは圧巻。いわばパワーアップした新生
Vasen。2007 作。Adventure Music America)}
- *OLOV JOHANSSON:I Lust Och Glod C
(Vasen のニッケルハープ奏者の Olov の CD 2 枚目は自身の小さな小屋で録

音したもので、極力シンプルに演奏又は友人演奏家とのデュオで演奏したもの。Olav のニッケルハルバ 音楽を愛する心が伝わってくる珠玉の 22 曲。2007 作。Drone)

- *PEROLS GUDMUND OLSSON:Fiddler From Rattvik C
(“Historical Recording Of Swedish Folk Music IX”。Rattvik というところのフィドル奏者 {1890~1981 年} の 1970 年代の音源から 38 曲。約半数はダンス曲のホルスカ。スウェーデンのフィドルの精神が脈打つ演奏の数々。P32 のブックレットは英語解説他にトロな風俗写真など。2004 作。Hurv)
- *SVANEVIT:Gryning C
(Svanevit のデビュー作。身が引き締まるほど気高く清々しいスウェーデンのトラッドだ。英語解説付。2005 作。Westpark)
- *KERSTI STABI:Ute Blaser Sommarvind C
(Alice Tegner という音楽家のカバー集。草原の薫りの北欧トラッド。w. Erik Rydvall [ニッケルハルバ], Anders Lofberg [チェロ], Magnus Zetterlund [マントリン、ハーモニカ] 他。全 19トラック。2008 作。Modesty)
- *NARA:Om C
(Nara は元 Gunnfjauns Kapell で Gotland 出身の名女性トラッド・シンガーの Gunnel Mauritzson とストックホルム出身で国民的人気のフィドルの大御所 Bjorn Stabi とアコーディオンの大御所 Bengan Janson のトリオ。Gotland のトラッドほかスウェーデン各地の伝承歌を Gunnel はスウェーデン・イッシュ・トラッドの芳香薫る美しい唄を素朴にうたう。絶品。2006 作。Caprice)
- *GUNNEL MAURITZSON:Raisu Aut B
(元 Gunnfjauns Kapell で現 Nara のシンガーの Gunnel の隅から隅みまでスウェーデン色の美しいスウェーデンのトラッド・アルバム。w. Roger Tallroch, Hans Kennemark, Rickard Astrom。2003 作。Xource)
- *ALE MOLLER:Hasten Och Tranan C
(名盤。w. Lena Willmark, Roger Tallroth, Ellika Frisell, Olle Steinholz。96 作。Amigo)
- *LENA WILLEMARCK・ALE MOLLER:Nordan C
(中世のトラッドと民謡集。Lena&Ale&Friends にしか創作出来ない極北の空気に充ちた孤高の北欧トラッド。w. Mats Eden, Per Gudmundson, Tina Johansson, Palle Danielsson, Jonas Knutsson, Bjorn Tollin。94 作。ECM)
- *MAGNUS STINNERBOM&DANIEL SANDEN-WARG:Harv C
(フィドル・デュオでスタートした Harv の実質的デビュー作。97 作。Amigo)
- *DEN FULE:Skalv(95 作。Xource) B
- *ARBETE OCH FRITID:Deep Woods B
(69 年結成の 5 人組フォーク・ロック・バンドのベスト盤。全 16 曲。93 作。MNW)
- *KEBNEKAIJSE:Electric Mountain B
(11 曲入編集 CD。73/75/76/77/93 作。Resource)
- *RAMLOSA KVALLAR:Nights Without Frames(78 作。Resource) B
- *SALTA:Salta B
(理想の北欧トラッドの一枚。Ulrika 嬢の美味シンキングがフィーチャーされたトラッド〜フォーク・ロックはあの Folk&Rackare を彷彿。必聴。97 作。Amigo)
- *BASK:Slakt B

(フィドル、サクス、フルートのトリオの確か2枚目。フィドルやフルートと同等にサクスが太い低音でトラットし、ホルスカを舞う。北欧トラット臭ふりまくフィドル&フルートと太く色彩感あるサクスが螺旋に絡み、自在にハモイズする。不思議な色彩感漂う大人のトラットである。2002作。Xource)

- *HEDNINGARNA:Kaksi (92作。Silence) C
*HEDNINGARNA:1989-2003 ¥1990
(Hedningarnaの偉大さが解る全18曲入編集CD。2003作。NorthSide)
*KENNY HAKANSSON:Hjartats Gatbok B
(「スカンディナビアの哀愁に彩られた元KebnekaiseのK. Hakanssonのソロ。Kebnekaiseの音楽とも、また前作のギター・アルバムとも全く違う哀愁のSSWアルバム。ギターはさすがに鮮やか。2001作。Hawk)
*CHATEAU NEUF SPELEMANNSLAG A
(副題“New Roots from Norway”。様々な音楽性を持つ連中によって結成された若きトラット・バンド。生粋のトラットからロックやジャズ風まで。96作。ドイツFeuer&Eis)

[CD/SWEDEN/ENGLAND]

- *OLA BACKSTROM・KAREN TWEED・IAN CARR・CARINA NORMANSSON
:Swap(デビュー作。97作。Amigo) B

[CD/FINLAND]

- *FRIGG:Polka V D
(フィンランドとルウェーの7人組混成トラット・バンドのFriggの5枚目。FriggはJPPのMauno Jarvelaの娘Alina、息子Esko、甥Anttiを中心に結成されたバンドで、JPP同様にフィンランドの伝統的農民音楽の伝統を受け継ぎつつ、JPP以上に革新的演奏に果敢に取り組んできたグループだが、4台のフィドルにバグパイプ、ギター、マンドリン、サウン、ダブルベース、トブローによる本作は、各楽器の演奏のレベルが高く、かつセンスが抜群で、他の北欧トラット・バンドの追随を許さぬ高度の音楽を創作しきっている。ワールド・クラス。2012作。Sibelius Academy)
*ARTO JARVELA & KAIVAMA:Arto Jarvela & Kaivama D
(Arto{フィドル、ニッケルハルパ}とKaivama{Sara Pajunen=フィドル&Jonathan Rundman=ギター、マンドリン、ピアノ}との共演は、フィンランド系アメリカ人のSaraが2010年にフィンランドにフィドルを学びに訪れたことに始まる。翌年ArtoがアメリカツアーのことでSaraに接触。結果一緒にツアーが実現。本作の録音は米国。フィドル二台、又はフィドルとニッケルハルパをフィーチャーしたサウンドは、屋外で気持ちよくライブ演奏しているような自然な抑揚のある音楽で気持が良い。師と生徒でありながら、音楽がとても調和している。2012作。Salt Lady Music)
*KTU:Quiver B
(BBCでPlanet賞受賞のフィンランドの新進気鋭の音楽家Kimmo Pohjonen{アコ、ヴォイス}率いるKTU{発音はK2}の新作。KimmoにTrey Gunn{ギター}、Pat Mastelotto{リズム装置}のトリオによる捉えどころのない宇宙的変幻自在音楽。フレイグナム気分。2009作。RockAdillo)
*LIISA, TELLU, TAITO&TALLARI:Runolaulutanssit C
(2000作。Kansanmusiikki)

- *TALLARI:Konsta(94 作。Kansanmusiikki) C
 *TROKA:Troka(94 作。Olarin) C
 *ZETA B00:Outer Rail 0 B
 (Anna-Mari Kahara {ウォーカル、アコ他}, Pekka Lehti {ベース}, Jorma Saari {ギター、カヴァーキーボード、トロンボーン、ラップスティール、キーボード、パーカッション}, Marko Timonen {ドラムス、パーカッション} の 4 人組バンドが創作する音楽は南国志向の桃源郷音楽。2006 作。Aito)
 *ARTO JARVELA:Far In! B
 (JPP の創設メンバーでご存知フィンランド屈指のフイドル奏者 Arto の 2004 年作。2004 作。OArt Music)
 *GJALLARHORN:Nordheim A
 (便宜上ここで。あの Gjallarhorn ではない。ウァイキング・メタル・ロック・バンドによる絢爛なロック。2005 作。SPV)
 *ALAMAAILMAN VASARAT:Kaarmelautakunta B
 (北欧独特なメソッドロックが感性鋭くバルカン風味ロックで表現された北欧暗黒ロック。無敵の北欧ロック。2003 作。Silence)
 *VIMPELIN VAINAMOINEN:Vimpelin Vainamoinen B
 (本名 Eili Kivinen {1900-1990} でシンガー&カヴァー奏者の 1972 年のソロアルバムにナショナル・ラジオ収録の音源を加えた 24 曲入。トラッドの臭みと抑揚と哀感を強調したカヴァー伴奏によるシンキングは村ののど自慢のおおらかさ。2000 作。Kansanmusiikki)
 *BARKA VALI:Skogsflot B
 (ボスニア湾のオランダ島の 7 人組強力フォーク・ロック・バンド。言葉はスウェーデン語。トラッドとロックが四つに組み、かつ二人の女性ヴォーカルが北欧の神秘性を振りまく、といった正当的北欧フォーク・ロック。2000 作。Barka Vall)

[CD/NORWAY]

- *JENNY LYSANDER:Northern Folk B
 (耳を疑うほどの理想的なブリティッシュ・フォーク・スタイルの女性 SSWアルバムだ。Jenny は 21 歳。本作は彼女のデビュー作だが、聴くほどにノルウェーの SSW の Jenny とフランス人プロデューサーの Piers Faccini との出会いから、奇跡的に珠玉の SSW が生み出されたという思いを強く持つ。レコーディングは Piers Faccini 所有の素晴らしい自然環境にある田舎のスタジオ。これまでに「Nic Drake 風」と持ち上げる SSWアルバムが何枚かあったが、本作は「Nic Drake 風」なアルバムの中では、最もそよ風のような、朝露のような、ある種夢遊病的「Nic Drake」の世界とは対象的な清々しく健やかな「Nic Drake 風」なアルバム。Jenny の夢は空想ロマ。新鮮な空気を運び込む繊細極まりないアコースティック・ギターの演奏と共に、優しく空想ロマの世界へと誘われる。歌詞は英語。2015 作。Beating Drum)
 *TORE BRUVOLL・JON ANDERS:Halvorsen Nattsang B
 (ノルウェーの Telemark という地方のトラッド集だが、Jon のシンキングは清流の清々しさ。終始神経の行き届いた感性鋭いギターで付き合う Tore のギターが全体の空気を清らかに引き締めている。身震いの逸品。2004 作。Grappa)

- *KuLokkCall:Kvinnfolk C
 (KuLokkCall は野で遊ぶ少女のように健やかで美しい女性トラッド・シンガーの Sunniva Berg {ハープとハーモニウムとグロックenspiel担当} をヴォーカルに据えた四人組トラッド・グループ。残り三名は André Kristoffersen {オルガン系楽器各種、ピアノ他}, Eivind Kløverud {パッカシオン他}, Terje Støldal {ベース、バッキング他}。中心を成す音楽は Sunniva の生まれ故郷のエストフォルの伝統歌のようだが、北欧トラッドのシンキング・スタイルでうたう Sunniva のシンキングは、意気揚々だったり、朗らかだったり、何かを愛しむ風だったり、言葉遊びをする風だったり、まるで野原や森の中で唄を好きに口ずさむよう。オルガン系楽器を中心にした音楽は、トラッドの枠を超えて、ファンタジックな香りの漂う優しいフォークミュージック。2015 作。Talík)
- *PER ANDERS BUEN GARNAS:Greinir C
 (ノルウェイのフイドルのハルデン・フェレ奏者の完全無欠のソロ。本作はノルウェイの伝統的ダンス音楽の Springar と Gangar とを中心に、Per Anders がノルウェイのダンス音楽の極北的センスを一心に傾けて演奏したもので、彼のハルデン・フェレの演奏からイメージされるのは、白夜の響き。シンプルに、これぞノルウェイのハルデン・フェレの響き！を保持した繰り返しのリズムは輪になって白夜の空を舞う。気高く清い音楽だ。音楽に終わりはない気分。2015 作。Talík)
- *FRA DE MOLLSTEMTE SKOGER:Sa Lengi Du Kjaem Att B
 (Fra De Mollstemte の一枚目。北欧トラッドではない。むしろ一輪の花的女性ヴォーカルをフィーチャーした北欧のフォーク・ロック・バンドの線上の北欧アコースティック・フォーク・アルバム。アコースティックだが、ギターやチェロやフイドルの演奏は深く北欧サウンドを奏で出していて、北欧的情緒を発している。彼らが生み出す世界は、70年代ブリティッシュ・フォークの夢心地な世界と通じる。ただ、壊れそうに美しい高音の女性ヴォーカルは、極めて北欧的だが。2012 作。Ta:lik)
- *LJOM:Seterkaut C
 (ノルウェーの中部の Snåsa という小さな山間のサミ人の町で育った Kjersti Kveli {ヴォーカル} と Anne Marte Eggen {ベース} の二姫を中心に Sivert Skavlan {クラリネット、チェロ}, Nils Anderson {ギター}, Tor Morten Kjøsnes {ピアノ} のジャズ、ロック、ワールド・ミュージック、クラシックなど幅広い音楽性を持った三太郎の新進気鋭の若者五人組。音楽は Kjersti のトラッド・シンキングを核に、Snåsa 地方の伝統音楽をベースに、トラッド、ロック、ワールド・ミュージック、クラシック等の幅広い音楽センスで創作した民俗音楽を超えた民俗音楽。一地方の音楽でありながら、創作された音楽の独創性と質は極めて高い。とりわけ野性味さえ持つ Sivert の極北的トラッド・シンキングは多様な音楽の中で、様々な表情を見せ、魅せる。2014 作。Kilkelig kurtulverksted)
- *BLATT GADN:Blått Gådn C
 (Blått Gådn はノルウェー南部のヴァルデリス地方の三人組 = Ingvild Lie {ヴォーカル、ランゲレイク}, Harald Høyvik {ギター、マンドリン}, Lars Skattebu {ハーモニウム} のトラッド・グループ。民俗楽器のランゲレイクを爪弾きうたう Ingvild のシンキングは、ある種マウンテン・ダンスマーをかき鳴らしたうたうヴァリアンツ民謡を連想させるが、当然ながら、ノルウェー流のトラッド・シンキング

はノルウェー民謡風だし、ダリヌー風の音色はノルウェーの土の香りを放っている。二人の男性ミュージシャンは、Ingvild の引き立て役。一步下がって、引き立て役に徹しているのが功を奏している。Ingvild の自然な節回しと音楽全体を覆う穏やかさが心とむ。2013 作。Tal ik)

*SUDAN DUDAN: Inntil I Dag C

(Sudan Dudan は Marit Karlberg {ウォーカル、ランゲレイク} と Anders E. Roine {ウォーカル、ギター、口琴} の男女の二人組。彼らの音楽は 11 曲中 8 曲がノルウェーの伝統歌。しかし彼らのトラッドは彼らのフィルターを通して創作された魅力的な北欧印トラッド。リード・ウォーカルの Marit のシンギングはきっちりとノルウェーのトラッド・シンギングを身につけた上 {一曲目の毅然として幽艶な香りを放つシンギングは圧巻!} で、様々な伝統歌に身を寄せてうたう。Anders がつま弾く典雅なギターと Marit が奏でる素朴で土俗的なノルウェーの民俗楽器のランゲレイクの伴奏が、Marit のシンギングをある種の緊張感の中で、引き立てている。トラッドの心をうたいながら、音楽は二人の心で創出されている。「女性シンガー・ウイズ・ギター」スタイルならではの、ある種の律儀さも音楽の質を高めている。2013 作。Ta: lik)

*TRON STEFFEN WESTBERG: Gammelpols C

(スウェーデンとの国境に接するノルウェーのレーロス地方のフイドル・ミュージック。レーロスのブルック出身の Tron は「1880 年～1890 年代に生まれたフイドル達」の古い録音を聴いたとき、彼らのフイドル演奏法は、「ダンスのための演奏」だと感じた」と、ライナーに書いている。Tron の集中力ある演奏は、闇の中を一筋の音が舞いながら美しい白線を描くかのよう。究極的に美しい北欧フイドル・ミュージック。ジャケットもブックレットもモノクロの世界。全 26 トラック。2013 作。Ta: lik)

*KELPIE: Live B

(ケルティックな香りを添え、ノルウェーの神秘的妖精の世界を唄と耳に優しく新鮮なアコースティック・サウンドで創作する Kerstin Blodig {ギター、ハウロン、ブズーキー} & Ian Melrose {ウォーカル、ギター、羊飼いの柳皮の笛、ホイッスル} の Kelpie の本作は、スウェーデンの Kelpie サウンド。このスウェーデンの Kerstin の妖精ウォーカルは気負いがなく、森の中をそよぐ風のように自然でいい。2010 作。Westpark)

*RYDVALL MJELVA: Isbrytaren C

(数曲聴くなり、背筋がゾクゾクとしてしまった。スウェーデンのニッケルハルバとノルウェーのハルディングフェールの音色は似通ってると思っていたが、その似た特徴と双方が国民的伝統楽器であることに着目し、スウェーデンとノルウェーの二人の若者奏者が共演したアルバムが本作。若者というのは忘れた方がいい。彼らの響き合う音楽を聴けば、その北欧音楽の美しさに魔法をかけられてしまうだろうから。素晴らしい北欧の音楽と出逢えた。2013 作。Heilo)

*ELI STORBEBKEN: Songen Til Floyta B

(本作は Mari Boine のプロデュサーの Georg Buljo の勧めで、Egil Storbekken 生誕 100 周年記念に制作された Egil 作曲集。11 曲中、縦笛をフィーチャーしたインスト曲の 2 曲以外は全曲唄もので、Egil の娘 Eli の魅惑のシンギングとノルウェーのトラッドをベースにした多彩な音楽で、Egil の広く北欧的に雄大な音楽の世界へと誘う。ノルウェーの自然を愛した父

- 親の音楽の心が確かに娘に受け継がれている。2012 作。Echofisk)
- *TRITULEN: Tritulen B
 (Tritulen は Ebba Jacobsson をヴォーカルに据えた女性 2 名と男性 1 名の
 トラッド・グループ。曲はノルウェーの西海岸の伝統曲を中心にした選曲で、
 Ebba のシンキングもフォイドル、ギター、アコーディオンの演奏も極北トラッドの薫り
 を発するが、スティックな極北性ではなく、穏やかでほんのりと牧歌的
 な極北性。Ebba のリルティングも新緑の森の中を口ずさみ散歩するよ
 うな爽快気分のリルティング。2012 作。Etnisk Musikkklubb)
- *KIM ANDRE RYSSTAD: Vegen B
 (若きノルウェーのフォーク/トラッド・シンガーの K. Andre の本作は、伝統歌や中世
 パラッド等を演唱したものだが、Kim の音楽性は北欧トラッドのスタイルと
 いうより、ブリティッシュ・フォーク/トラッドのスタイル寄り。4 曲目の“Heming”はノ
 ルウェーのフォーク・ロック・バンドの Folque も演唱していた伝統歌。2011 作。
 Grappa)
- *CAMILLA GRANLIEN & KRISTIN SEVALDSEN: Aftenstemning C
 (北欧屈指のトラッド・シンガーの Camilla の本作は女性サクソ奏者兼ヴォーカ
 ルの Kristin とのコラボ。Bjornstjerne Bjornson{1832-1910}の詩に
 Camilla がトラッド調の曲を付け、Camilla のシンキングに Kristin 他のジ
 ャズ系のゲスト・ミュージシャンが即興的に伴奏を付けた即興性の高いシンギ
 ング・アルバム。ノルウェー独特な感覚のジャズ仕立てのノルウェー・トラッドだ。2011
 作。Ta:lik)
- *BUKKENE BRUSE: Bukkene Bruse (93 作。Grappa) B
- *WIZARD WOMEN OF THE NORTH a
 (ノルウェーのトラッド・シンガーとミュージシャン{Tone Hulbaekmo, Annbjorg Lien,
 Sinikka Langeland, Aurola Borealis, Asne Sunniva Soreide,
 Kirsten Braten Berg, etc}を中心にフィンランドから Tallari{1 曲}と
 Tellu{2 曲}そしてスウェーデンから Susanne Rosenberg{2 曲}を加えた
 編集 CD。全 19 トラック。北欧トラッド・シンキングの粋が味わえる。1998 作。
 Heilo)
- *EPLEMOYA SONGLAG: Eplemoya Songlag B
 (女性北欧トラッド・シンキング特有の毅然とした美しさを保持しつつ新
 鮮な感覚が脈打つ女性ヴォーカル・トリオの鮮烈なデビュー作。リード・ヴォーカル
 を取る Liv Uivik の伝統的シンキングを Wenche Losnegard と Anja
 Eline Skybakmoen の二人がリズム楽器や伴奏楽器や喉唄の効果音で
 強力にバックアップし、Liv のシンキングは天空をかけたか、妖気を帯びた
 りする。北欧ならではの素晴らしきヴォーカル・ミュージックの世界だ。
 2010 作。NORCD)
- *SIGRID MOLDESTAD: Sandkorn B
 (ノルウェーを代表する女性フォーク・シンガーの Sigrid の本作はスコットランドの
 Robert Burns 作の名曲 3 曲と伝統歌 2 曲と残りは Sigrid の自作曲と
 いう曲目で、自身が奏でるハルディングフェール等がノルウェーのトラッドの薫り
 を撒き散らす中、Sigrid の軽やかな節回しの唄は北欧風味を薫ら
 せ、詩情豊かで美しい。2010 作。Heilo)
- *FRIBO: The Ha' O' Habrahellia ¥800
 (ノルウェー人シンガーの Anne Sofie Linge にスコットランド出身のハルディングフェール
 奏者でヴォーカルの Sarah-Jane Summers とイングランド出身の口琴、ギター、

マンドーラ奏者でヴォーカルの Ewan MacPherson のトリオ。Anne の軽やかで澄んだスクットを含めたシンギングはノルウェーの女性トラッド・シンギングの理想の風合い。2006 作。Fellside)

- *OLD TIME DANCE MUSIC ¥1980
(副題“Masterpieces from Norway”。フルツ、ラインレンダー、マズルカ、ホルカ等の“Old Time Dance Music”の演奏集。全 23トラック。演奏は Bukkene Bruse 他。ブックレットには「百年の歴史を持つポップミュージック～民族音楽」について日本語でも書かれている。97 作。Grappa)
- *TARJEI ROMTVEIT:Kvenneslatten ¥1980
(1925 年生まれの名フルディングフェル奏者の Tarjei の名演奏集。発売時 70 歳のいやはや年齢を感じさせない華麗な演奏だ。全 41トラック。95 作。Buen)
- *STORSKOGEN SPELLMANNBAND:Villspika B
(フィドル、ギター、チューバ、サクソ、クラリネット、ベース、パーカッション他のユニークな楽器編成の 6 人組トラッド・バンド。2000 作。Grappa)
- *BLAMANN BLAMANN:Blamann Blamann B
(「フェアポート・タイプ」のフォーク・ロック・バンド」との宣伝文句だが、きちりルウェーのトラッドがベースになった上で、トラッドからフォーク・ロックまで展開する。2001 作。Grappa)
- *LARS UNDERDAL:Gullfakse B
(Hardingefele 奏者によるダブブルな音楽。Telemark 地方の音楽。98 作。NOR-CD)

[CD/LATVIA]

- *AUJI:Aulos... B
(バグパイプと太鼓のグループだが、フルタニユのそのタイプのグループとは全く違う。他にギガという大きなフィドルやダブルリードの笛にヴォーカも入った音楽は各楽器の伝統色豊かなアンサンブルが見事で、勇壮な音楽を華麗にダイナミックに創作している。2007 作。Lauska)

[CD/ESTONIA]

- *SOFIA JOONS·EMMA HARDELIN·MEELIKA HAINSOO
:Strand...Ran B
(三人の歌姫によるスウェーデンの最高レベルの女性トラッド・シンギングを聴く感触のエストニア西海岸の伝統歌集。Sofia はエストニア系スウェーデン人、Emma は Triakel、Garmarna のヴォーカルでスウェーデン人そして Meelika はフォーク・ロック・バンドの Vagilased のヴォーカルでエストニア人。唄は弓奏ハープ、フィドル、チーなど素朴な伴奏或いは無伴奏でうたわれていて、歌姫それぞれがまっすぐな孤高のシンギングで魅了する。2001 作。Johanson&Vennad)
- *KART JOHANSON:Seitse Une Nagu B
(ストーリーテラーで女優の Kart が 2000 年以上の歴史を持つと言われているルン・ソングをうたったアルバム。Kart の唄はミンクのようなゆったり意味不明な言葉遊びや呪文のような唄だったり、賛美歌のようだったり、不思議不思議。2004 作。Arm Music)
- *SILD:Tro B
(エストニア人でヴォーカルと Hiiu-Kandleid というエストニアのフィドル系楽器奏者

の Sille Ilves とギター&ハモンド・オルガンの Martin Leamon のウェールズで活動する二人組の Sild の本作は 2 枚目。ウェールズとエストニアの伝統歌だが、Sille の野趣な味わいを秘めた軽快で美しいソングとスカットは絶品だし、彼女が奏でる民俗性高いやはり野趣な味わいのエストニアの伝統楽器の Hiiumandla 是荒れ野の原へと誘う。野性と夢性が宿る唄を気高くうたいこなしている。2008 作。Fflach)

[CD+DVD/BELGIUM, FLANDERS] PAL Region 2

※PAL 方式再生可能 DVDプレーヤー/パソコンでのみ再生可能

*RUM: 1972~1978

¥2980

(ベルギーのトラット・グループ Rum の 72 年 74 年 75 年 78 年発売の 4 枚のアルバム収録の 2 枚組 CD とライブ DVD のセット。男性 3 人組 {4 枚目では紅一点の女性ヴォーカル Vera Coomans が加入} の Rum は独自のヨーロッパ的格調あるヴォーカルとトラット・サウンドを生み出している。DVD は当時の貴重なライブ映像集でアコースティックから民族楽器の伴奏の彼ららしい格調高く典雅なトラットそしてルサンス音楽風味のまで彼等の演唱が楽しめる。72/74/75/78/2005 作。Universal)

[CD/BELGIUM, FLANDERS]

*TRIO DHOORE: Madus Operandi

C

(Koen {アコースティック&エレキ・ハーモニカ・ギター}, Hartwin {アコ、ホイッスル、バグパイプ} & Ward Dhoore {ギター、マンドリン} の三兄弟による心うきうきなデビュー作。久しぶりに聞く Blowzabella スタイルの音楽。三兄弟の音楽もハーモニカ・ギター、アコ、バグパイプを要にした楽器編成と中央フランスのダンス音楽をベースにした音楽性は、Blowzabella と重なる。三兄弟は小編成を活かして、リズムが自由に遊び感覚とおしゃれっぽさがある。聞き流して、気持ちが良い。日産サニーとかホンダとか日本車の名が出てくるが、車は日本車びいきなのだろうか？ヤッホーの一枚。2013 作。Appel)

*FOLLIA: Follia!

C

(このフォーク・ロック・バンドは一体何者!? メンバーは七人。リード・ヴォーカルは男女の二人。女性の方の Indra Boone は若手の SSW だという。彼らの異種交配型の奔放なフォーク・ロックの凄さ、大胆さは、一見はちゃめちゃめ…一見ではなく、本当にはちゃめちゃめ。しかしそのはちゃめちゃめの音楽はフォーク・ミュージシャンとしての卓越した頭脳プレイと遊び心が各所に散りばめられていて、好き者には悶絶の音楽。三つ折りジャケットを開けば、鳥人間のダンスの図。2014 作。Wild Boar Music))

*ELEONOR: Erros

C

(Eleonor はヨーロッパの古くからの言語ラテン語の歌をうたう女性シンガー。タイトルはエロスとエラーの合成語だそう。本名 Elly Aerden の Eleonor は様々な国のフォークやワールド・ミュージックに傾倒する中で、古いラテン語に興味を持ったという。Eleonor のヴォーカルは地中海の潮風の香りというか、肩肘張らない歌声は自由で軽やか。音楽的には、フュージョン、アラブ音楽、フランス系フォークそしてジャズなどの感覚が感じられる新鮮な感覚のオリジナルな音楽。Eleonor の唄は、終始夢の中を漂うように美しい。そして芳しい。2014 作。Music&Words)

- *NARAGONIA: Janneke Tarzan C
(Pascal と Toon の二人組時代の Naragonia の 2 枚目。アコと吹奏楽器の
組合せでリズムカミに編まれた音楽は詩情豊かでダンスブル。最愛聴盤。
2007 作。Appel)
- *AMORROMA: Merci, Jules ¥2980
(Amorroma の新作は豪華三枚組。三枚組で四つ折りジャケットと気合い
十分だが、Sarah Louise Ridy {ハロックハーフ} と Jowan Merckx {カキ、
木製フルト} の二人組による演奏はまるで夢の演奏会。カキは小鳥
のさえずりのように軽やかだし、ハロックハーフは上等なオルゴールのよ
うに気品があって美しい。本作は 100 年と少し前のブラバント地方の
ダンス音楽にインスピレーションを得て、あらたな解釈で制作された音楽。
森の中や広場で軽やかに、そして優雅にダンス気分。ダンスするのは
人ではなく、森の精かも。信じられないほど素敵なベルギーの民俗
音楽だ。上品な名作。Sarah がだっこしているきじ猫、うちのサリに
そっくり。2014 作。Majestic)
- *MORAGH: Best Case Scenario C
(Moragh はゲール語で「偉大」を意味する語をバンド名にするフランダースの
ケルティック・バンド。結成は 2007 年。メンバーは、Peter Ceulemans {ギター、ウ
ォーカル}, Marnix Polfliet {イリアンパイプス、ホイッスル}, Wim Moons {ハウロン} に
フランダースのフォーク・ソングの大物四人 = Dirk Naessens {フィドル、マンドリン他。
Urban Trad}, Gunnar Van Hove {フルト、Setanta, Daou}, Gert
Meulemans {ベース、Snakes In Exile}, Philip Masure {ギター、シタール。
Comas} を加えた七人の侍。彼らが挑むのはアイリッシュをベースにした大
型ケルティック・ミュージック。想像するに彼らが目指すケルト音楽の型は、
Lunasa と Planxty とを混ぜて、独自の音楽性を被せた今日的なかつ
こいい音楽。2013 作。Appel)
- *SURPLUZ: Laat Ons Drinken! C
(Surpluz はベルギーの 4 人組トラッド・バンド。メンバーは Elke De Meester
{ウォーカル、アコ}, Pieterjan Van Kerchhoven {バグパイプ、サクソ、ウ
ォーカル}, Jeroen Knapen {ギター、ウォーカル}, Bart Knapen {クラリネット、ウ
ォーカル}。メンバー全員がウォーカルも達者で、意気揚々としたシンキングとたっぷり
躍動感のあるダンス音楽は、一気に気分を高揚させる。ダンス気分も
最高。2012 作。Wild Boar Music)
- *AURELIA: La Creation Du Monde C
(夢幻的ウォーカル・ミュージックの可能性を追い求める魅惑の女性シンガーの
Aurelia {Dorzee} の本作は、不思議な夢世界音楽。その夢世界はベル
ギーの地から遠く離れた西アフリカ音楽的夢世界。Aurelia のアシーな空
かけるフィドル演奏と名ギタリスト、Tom Theuns の微細で多彩な乾いたギ
ター演奏、そしてパーカッション奏者の Serigne Cm Gueye の多彩なリズム演
奏が夢世界音楽を創る。感性優先の音楽だが、根源的な何かが感じ
られる音楽でもある。2012 作。Home)
- *MARC MALEMPRE・REMI DECKER: Codicille 2013 C
(副題“Chanson Populaire De Wallonie”。本作は、シンガーでフィドル、
コルミュージック奏者の M. Malempre とシンガーでギター、コルミュージック奏者の
R. Decker の二人が、ベルギー南部のワロン地方の村々の伝承歌に注目
し、大衆的な精神を失うことなく再現しようと作られたワロン地方

のトラット・アルバム。リード・ヴォーカルの Marc のシンギングは、元 Malicorne の Gabriel Yacoub のシンギングを想起させる味わいを持ち、二人でハル唄は Malicorne を想起させる気高さと土臭さを放っている。2013 作。Home)

- *FARAN FLAD: Maiden Voyage C
(Kadril のイングランド人女性シンガーの Heather Grabham をリード・ヴォーカルに据えた英国人、フランダース人混成のトラット・バンド。2010 作。Wild Boar Music)
- *BALLADEUS: Snikheet C
(男性五人組トラット・グループ“Balladeus”の本作は伝統曲と主にヴォーカルの Rufijn De Decker の作詞作曲のバラッドを時代背景や音楽性に応じた様々なスタイルのフォーク・ミュージックで演唱したアルバム。楽器編成はハーディー・ガデー、アコ、クラリネット、バグパイプ、ギター、チェロ、ホイッスル、コントラバス、タンバリンなど。2009 作。Wild Boar Music)
- *MR DIAGONAL & THE BLACK LIGHT ORCHESTRA: BBB ¥1500
(鬼才 Diagonal 氏と奇妙な仲間による意味不明な魔法のようなお遊び音楽。ヴォーカル、ピアノ、フルート、キーボード、サクソ、パーカッション、ヴァイプ。2008 作。Home)
- *FLOES: Belovodia B
(フランダース屈指の女性トラット・シンガーの Soetkin Collier がヴォーカルの 5 人組。音楽性はカルト音楽と東欧音楽を二大栄養分としてフランダース流に仕立て上げたような勢いと愁いのある魅惑音楽。Soetkin のシンギングはソで、或いはもう一人の女性ヴォーカルの Silvie Moors とのデュエットですっかり魅了する。ギター、サクソ、バグパイプ、アコーディオン等音楽家の演奏レベルも高いし音楽センスも最高。2006 作。Home)
- *BRADYAGA: Promesses B
(Bradyaga は Naira Mnoian と Lola Waters の二人の個性的な女性ヴォーカルをフィーチャーした 6 人組。二人のシンガー醸す雰囲気は独特。大人の女性の落ち着いたムードがハミングを含めて魅力的で全編独特なムードの中で展開する。音楽的にはジブシー&クラスマ的なものがベースで東欧っぽさやフレンチ・トラットっぽさも。一度この魔力に取りつかれると病み付き。2005 作。Home)
- *WOUTER VANDENABEELE: Chansons Sans Paroles B
(Ambrozijn のヴァイオリン奏者で作曲家 W. Vandenabeele の唄なしの唄。演奏のみでうたわれた物語。Soetkin Baptist の妖精スクットはあるが…。陰影に富み湧き出す感情を押し殺したような泣きのヴァイオリンは叙情的かつ詩的。どこか北歐的でメランコリックな音楽。2007 作。Home)
- *AMBROZIJN: 10 ¥1500
(フランダース屈指のトラット・バンドの結成 10 周年記念ライブ。Ambrozijn {Tom Theuns, Wouter Vandenabeele, Wim Claeys} がベルギーとフランスから招待したゲスト・シンガーは Gabriel Yacoub, Vera Coomans, Soetkin Collier, Sylvie Berger, Ludo Vandeaau。フランドールとその周辺の音楽を賛美するような音楽構成は祝祭ムードを放つ音楽として身を結んでいる。2007 作。Home)
- *LAIS: Dorothea D
(ご存知人気の女性ヴォーカル・トリオの 2001 年作。ヴォーナス曲“Le Grant

Vent" {アペラウアーシヨ}付。2001 作。Virgin)

- *LAIS:Victime D
(ご存知人気の女性ヴォーカルの 2004 年作。CCCD {コピー禁止 CD}。
Virgin)

[DVD/HOLLAND] PAL Region 2

※PAL 方式再生可能 DVDプレーヤー/パソコンで再生可能

- *YGDRASSIL:Live At The Folkwoods Festival 2006 ¥2980
(Linda Nijland&Annemarieke の女性ソングの二人にギター、その他の Bert Ridderbos の三人組による 17 曲ライヴ。CD "Easy Sunrise" そのままのブリッシュ・フォーク的世界。"Cruel Sister", "The North Star Grassman And The Ravens", "Motorcycle Mama" (Neil Young 作) 他。2007 作。Teal Harm)
- *FLAIRCK&CORPUS:Circus Hieronymus Bosch ¥2980
(2002 作。Alpha Centauri Entertainment)

[CD/HOLLAND]

- *FLAIRCK:Twee En Twintig ¥9500
(デビューからの音源をまとめた 22 枚組ボックス・セット。全 228 曲。P36 の解説書付。2007 作。Flairck Music)
- *YGDRASSIL:Easy Sunrise ¥1500
(女性二人のヴォーカル・デュエットをフィーチャーしギター、ベース等の Bert Ridderbos が伴奏の三人組。全て英語で一言で言えばブリッシュ・フォーク・タイプなのだが、二人のヴォーカルとデュエットから生まれる世界は本作の最後を飾る曲 Sandy Denny 作の "The North Star Grassman And The Ravens" 的で、陰影の中にかすかな光りが感じられる独特な世界。全 14 曲。2005 作。Rouder Europe)
- *TJANE:Mark C
(澄んだ Silvie のソングに清々しいフォーク・ロック・サウンド。全曲トラッド {又はトラッドの歌詞に曲を付けたもの} だが、歌詞の内容も純朴なものばかりで気分はすっかり「春」の気分。健やかなフォーク・ロックだ。2005 作。Frea)
- *GERARD VAN MAASAKKERS D
:Komt Er Mer In/Vur De Wind/Onderwege
(オランダのトラッド/フォーク・ソング Gerard の 1 枚目～3 枚目が 2 枚組み四つ折りジャケットにて復刻。この時代彼のアルバムは上品なヨーロッパ情緒漂うアコースティックなサウンドと彼の愁いのある澄んだ唄に心洗われる。宝物。78/80/82/2003 作。Stoof/Munich)

[CD/GERMANY]

- *NADIA BIRKENSTOCK & STEVE HUBBACK:The Glow Within C
(ケルティック・ハープ奏者でソングの Nadia の六枚目は、ウェルズ人ハープ・カッション&ゴング奏者の Steve Hubback とのコラボ。Kim のケルティック・ハープの世界とは、彩りを異にする深くヨーロッパ的な Nadia 独自のケルティック・ハープの世界を創作しきっていて、感動的。音楽の方向性は Cecile Corbel や Loreena McKennitt と同方向性。2013 作。Laika)

- *OUGENWEIDE:Ungezwungen B
(77 年作。P24 のブックレット付 77/2007 作。Bear Family)
- *OUGENWEIDE:Fryheit/Ousflug B
(78 年作“Fryheit”と 79 年作“Ousflug”の“2 on 1”。P44 のブックレット付。
78/79/2007 作。Bear Family)
- *OUGENWEIDE:Ja-Markt/Noch Aber Ist April B
(80 年作“Ja-Markt”と 81 年作“Noch Aber Ist April”の“2 on 1”。
P44 のブックレット付。80/81/2007 作。Bear Family)
- *TOM DAUN:Harfenflocken A
(ドイツのヴァイオリン・ハーブ奏者の New。ケルティック・ハーブともクラシック・ハーブとも一
線を画すヨーロッパ・ロマンティズム薫る奥深い T. Daun 流のハーブ・ミュージック
の世界。2000 作。Wundertute)

[CD+DVD/BRETAGNE] PAL Region 2

※PAL 方式再生可能 DVD プレーヤー/パソコンでのみ再生可能

- *ALAN STIVELL:Parcours ¥2980
(CD と DVD セットのブック型特殊豪華パッケージ。CD は Alan Stivell のバンド
を従えての 2003 年と 2004 年のライヴ 12 曲とボーナス曲 4 曲の計 16 曲。
190 分。2004 作。Keltia III)
- *DAN AR BRAZ:Frontieres De Sel ¥2980
(CD と DVD セットのブック型特殊豪華パッケージ。CD は 2005 年のライヴ 5 曲に
2001 年作の“La Memoire Des Volets Blancs”から 3 曲そして 2003
年作の“A Toi Et Ceux”から 2 曲の Dan のエレキギターが輝く彼らしい
美しいフォーク・ロックが全 10 曲。155 分。2006 作。Pathe)

[DVD/BRETAGNE] PAL Region 2

※PAL 方式再生可能 DVD プレーヤー/パソコンでのみ再生可能

- *ALAN STIVELL:Alan Stivell ¥2980
(豪華な内容。フィルムとコンサート 2 本立てで、“フィルム”は A. Stivell のブレイク
音楽からアイルランドの旅と共演 {Matt Molloy, Dubliners, Paddy
Moloney, Liam O'Flynn, Brenda Mayock それにロック・バンドの Simple
Minds 等との共演} のドキュメンタリーで 47 分。“コンサート”は 2000 年の野外フェス
ティバルのライヴ。こちらは 50 分。2000 作。Arte Video)

[CD/FRANCE]

- *LA NOVEM DAP COMPANHIA:Chant Et Polyphonie En Béarn D
(二枚組。南仏オクシタニアはペアル地方の女性ポリフォニーグループ“La
Novem”の三枚目。ディスク 1 はピレネーとガスコニの民謡をほぼ四人の
グループでうたいあげるが、所々に打楽器の伴奏や効果音的サウンド処
理が成された曲もある。ディスク 2 は教会と病院でのライヴで、土地の
民謡歌手 {誰も彼もがヴァイオリン・トラッド・シンガー風で、シンキングが素晴ら
しい!} や集まった人々との交流歌会といった様相を呈していて
面白く楽しい。素朴で、豊かで奥の深いオクシタニアの民謡の世界だ。歌
はオック語とフランス語。全 30トラック。英語解説有り。ペアル地方の山々の景
色をご覧になりながら、どうぞ。2015 作。Buda)
- *HIKS:Operation Malicorne C

(Hiks はブルターニュの五人組ロック・バンド。しかし実態は Gabriel Yacoub with Hiks。この組み合わせはもの凄い。トラッド・シンガーの Gabriel の魂とロック・バンドの Hiks の魂との魂と魂のぶつかり合いから生まれる音楽の底知れぬパワーは、本当にもの凄い。どちらが望んで組んだのか知らないが、結果、Malicorne を超える壮麗なフランス発のフォーク・ロックを堂々と縦横無尽に体現している。Gabriel のシンギングは、まだこれほどのパワーを持っていたのかと驚くほど凄みがある。ゲストだが、Marie Yacoub も Marie De Malicorne の名でハーモニーヴォーカルで付き合っている。これほどヘヴィなフォーク・ロックはあまり聴いたことがない。2014 作。Aztec Musique)

*NOLWENN ARZEL: La Harpe De Bretagne - Strewiñ D
(両親がブルターニュの出身で、ご本人はパリ生まれのケルティック・ハープ奏者の Nolwenn 嬢の CD。彼女にとってブルターニュの伝統音楽は夢の音楽。彼女はブルターニュの伝統音楽の個性的な民俗性を保持しながら、独自の夢感覚の色を輝かせて、幽艶で優艶なブルターニュのハープ・ミュージックを創作する。6 曲目の "Wallace Jigs" はスコティッシュだが、音楽から立ち上る香りは、Alan Stivell の高貴で幽玄な香り。アルバム最後を飾る 13 曲目は、ブルターニュのラヴソング "C'est A Cuipry"。唯一彼女のヴォーカル入りで、ブルターニュのケルトの香り充満。おそらく Cecile Corbel 同様、彼女もハープ・レッスンはアイルランドから入ったのだろう。1 曲目の "Set Of Reel" や 7 曲目の "O' Carolan's Quarrel" での里帰りの「響き」から、そう直感。2014 作。Coop Breizh)

*BROTTO LOPEZ SEXTET: La Ronda Dels Viatges B
(Rosina de Peira e Martina の時代から時を経て、今度は若々しいオクシアのトラッド・バンドの登場。ヴォーカルは Guillaume Lopez と Lolita Delmonteil-Ayral の男女の二人。唄はこの二人が掛け合うスタイル。双方とも南欧的なトラッドの香り立つシンギングだ。三曲目の "Quando io eri hilha a marider" は Rosina de Peira e Martina もうたっていたが、伝統性の内で、新たな命を吹き込んでいる。音楽はオクシアのダンスのリズムを大らかに取り込んでいて、大らかなノリが心地よい。伴奏楽器はアコーディオン、コルムニス、ヴァイオリン、ベース、フズキ、バスクの太鼓、パーカッションなどだが、中心的な楽器はアコーディオンで、Cyrille Brotto の指から生まれる多彩なリズムと音色に心躍らされる。世界クラス。2014 作。Camom)

*LA MAL COIFFEE: L' embelinaire B
(オクシアの女性トリオ・コーラス・グループの La Mal Coiffée による大地を揺るがす女性ヴォーカル・シンギング・アルバム。言葉は全曲オック語。伴奏楽器はパーカッションのみ。タンバリンを含む各種パーカッションの多種のリズムのみで、各シンガー達は自身の声をリズム楽器にも変えて、多彩な声の音楽を描く。根底にあるのは、オクシアの地唄、つまり伝統的シンギング。彼女等はブルガリアの女性トリオのように、或いはフィンランドの Varttina のように、力強く、たくましく、かつ美しい多声の芸術品を創造する。圧巻！ 2014 作。Sirventes)

*CECILE CORBEL: La Fiancée ¥2890
(Cecile Corbel の「花嫁」と題された五枚目。2014 年の秋にフランスの Polydor からのリリース。弦楽四重奏を伴った本作は Keltia Musique

の“Songbook”路線とは一線を画す、例えば、カナダのロリーナ・マッケニット路線の「ケルト」を増幅させたファンタジック・ミュージック。Cecile は元々そうした要素を多分に持っていたが、ここに来て、「伝統的ケルト」のしがらみを取り去って、Cecile が夢描く「ファンタジック・ワールド」を存分に音楽化したという印象。音楽の内容は「情熱的な愛の物語」らしい。
2014 作。Polydor)

- *CECILE CORBEL: Songbook Vol. 1 A
(セシル・コルベルの二作目はいわば寄り道の音楽。伝統的音楽性は希薄で、ヴォーカル&ハーブの音楽で枠にとられない音楽の創作を楽しむかのような自在なサウンドで飾り、夢の中で遊ぶかのような遊戯感に溢れている。2006 作。Keltia Musique)
- *CECILE CORBEL: Songbook Vol. 2 A
(デビュー作で創作したオリジナルなブルターニュ発ケルト音楽は本作において、ひとつの絢爛な完成を見せている。音楽はきらびやかな光沢を放ち、セシルの小悪魔的ヴォーカルはさらに魅力的で、セシルのハーブは様々な表情で躍動しながら光を放ち流れる。シンガーとして、ハーブ奏者として、世界レベルのケルト風味音楽を突らせている。Loreena McKennitt ファン必殺。2008 作。Keltia Musique)
- *ALAN STIVELL: Au-Dela Des Mots B
(英題“Beyond Words”。w. Ronan Le Bars {イリアン・ハーフス}, David Hopkins {ハーフカッション}。2002 作。Keltia III)
- *ALAN STIVELL: Emerald B
(2009 作。Keltia III)
- *SOLDAT LOUIS: Kingdom Tavern B
(ブルターニュのケルティック・ロッカー、Soldat Louis {ヴォーカル、エレキ&アコースティック・ギター、バッキング} の本作は、まるでブルターニュ流米国西海岸ロック。ケルト圏のロックバンドの中でも、Soldat Louis と彼のバンドは若々しさとガッツで群を抜いている。ヤッホーの一枚。2013 作。Coop Breizh)
- *DOMINIG BOUCHAUD: Vibrations Harpe Celtique B
(ブルターニュのハーブの第一人者のブルターニュのトラッドを中心にしたケルティック・ハーブ集。全 17 トラック。Keltia Musique)
- *DOMINIG BOUCHAUD: L'anore d'argent B
(ブルターニュのハーブの名手が全霊を傾けた珠玉のブレトン・ハーブ音楽。古来から伝わるブルターニュのハーブ音楽の優美さや気高さがじわりじわりと身に沁みてくる。セイント・ハーブ担当でシンガーの Ann Auffret の 3 曲のシンキングの見事さは言葉で言い表せぬほど。英語詳細曲目解説付。全ハーブ愛好家必聴。全 20 曲。2002 作。Keltia Musique)
- *ANNE DE BRETAGNE C
(ハード・カバー装丁の 2 枚組。副題“Le Rock Opera d'Alan Simon”。全曲 Alan Simon 作詩作曲の中世ブルターニュの歴史絵巻物語。参加ミュージシャンが豪華。Cecile Corbel, Fairport Convention, Chris Leslie, Tri Yann, Didier Squiban, Pat O' May 等等。全 30 曲。色鮮やかに描かれた P48 の歴史絵巻ブックレット付。2009 作。Babaika)
- *EVELYNE BELINE GERARDON: La Fontaine Troublelee C
(元 La Bamboche の Evelyne の 70。本作はむしろ同時代を生きてきた

Malicorne の核の音楽を志向する真摯なフレンチ・トラッド・アルバム。
Evelyne のシンキングは伝統歌本来のシンキング・スタイルに身を預けたスタイルで古風で優雅。w. Jean Blanchard [元 La Bamboche], Soig Siberil, Gilles Chabenat, Jeremie Mignotte, etc. 全 18 曲。2011 作。
Compagnie Beline)

- *MUSIQUES DE BRETAGNE B
(副題 "New Recording Of The Great Airs Of Brittany"。Cecil Corbel, Red Cardell, Gwalarn, Louis Capart, Gilles Servat, Anne Auffret, Pat O' May 等ブルターニュのトラッド・ミュージシャン達の音源から全 17 トラック。2011 作。Keltia Musique)
- *MALICORNE: Concert Exceptionnel Aux
Francofolies De La Rochelle B
(Gabriel & Marie Yacoub, Hughes De Courson, Laurent Vercambre, Oliver Kowalski のラインナップの Malicorne の 2010 年のライブ盤。Gabriel & Marie Yacoub がヴォーカルに入ると気高く優美な Malicorne サウンドに変幻。圧巻! 2010 作。Sony Music)
- *GABRIEL YACOUB: Bel (1990 年作。Boucherie) B
- *GABRIEL YACOUB: De La Nature Des Choses B
(美意識に裏打ちされたある種妖氣的詩的世界。2008 作。Roseau)
- *SOLDAT LOUIS: Happy... Bordee 20 Ans C
(結成 20 周年記念ライブを収録した二枚組盤。ヴォーカル & キターの Soldat Louis 名義のアルバムだが、実質的に 7 人編成ケルティック・ロック・バンドとして、いわばブルターニュの Runrig のような存在で、ブルターニュ版 Runrig 的音楽を勇猛果敢に創作する。孤高のケルティック・ロック。2009 作。Coop Breizh)
- *LOUISE EBREL: Ma Zad Ma Mamm B
(「何だばあさんか」と馬鹿には出来ぬ。Louise ばあさんのうたうブルターニュの伝統歌の数々は血統書付のブルターニュ・トラッド。その濃度はかなり濃い。そんなブルターニュ色濃い伝統歌を毅然とシンキングし、軽妙にリリックしたりもする。ブレトン・トラッド・シンキングの真髓。2010 作。
Keltia Musique)
- *FLORENCE PAVIE, YANN-FANCH KEMENER, ALDO RIPOCHE
: Dialogues B
(ブレトン・トラッド・シンガーの最高峰の Yann がチェロ奏者 Aldo とピアノ奏者の Florence による厳かな空気の音楽の中でブレトン・トラッド・シンキングを極めた Yann の円熟したシンキングが素晴らしい実質的に Yann のソロ・アルバム。極上のブレトン・トラッド・シンキング・アルバム。2006 年録音。Buda Musique)
- *MICHEL TONNERRE: Quinze Marins B
(海の男の荒くれフォーク・ロック。酒でつぶれた? トースの利いたヴォーカルと共に海辺の安酒場へ。海の男達の自慢話とロマンの世界。バックが充実してるのにバック・ミュージシャンに関する何のクレジットもなし。2007 作。
Keltia Musique)
- *MARIE DE MALICORNE C
(Malicorne のヴォーカルで Gabriel の奥方 Marie のベスト盤。収録曲は 1975 年~2005 年。ボーナス曲 1 曲を含む 15 曲。Malicorne での Marie の存在の大きさがわかる。2005 作。Roseau)

- *JEAN-MICHEL VEILLON-YVON RIOU
:Pont Gwenn Ha Pont Stang(95作。Gwerz) B
- *JOAN FRANCES TISNER:12 Receptas De J. A. Lespatlut B
(オクシアのヴァン・トラット・シガ-兼フォーク研究家の2枚目。オクシアのトラット・シンギング&アカペラの特異さ=魅力を奔放な音作りで浮き彫りにする。音作りは斬新ながら、ちゃんとオクシア特有のエスニックな「音」が散りばめられている。P28のブックレット付。2004作。Menestres Gascons)
- *ALAN STIVELL:Telenn Geltiel~Harpe Celtique C
(64作。Dreyfus)
- *ALAN STIVELL:Trema'n Inis(76作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL:Terre Des Vivants(81作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL:Harpes Du Nouvel Age(87作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL:Journee A La Maison(89作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL:Brian Boru(95作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL:1 Douar(98作。Dreyfus) C
- *ALAN STIVELL:Back To Breizh(99作。Dreyfus) C
- *ROSINA DE PEIRA E MARTINA
:Chants Traditionnels Occitans D
- *ROSINA DE PEIRA:Sul viu - Gospel d'Oc a
(オクシアのトラット・シガ-のRosinaの2003年作。教会でのライブで全くの無伴奏。オク語によるRosina独特な節回しは豪快で繊細で優雅で神聖。2003作。Rosina de Peira)
- *MARC ROBINE:Dulcimer a
(フランスのマウンテン・ダルシマ-奏者でシガ-の編集CD。全18曲。録音は1977~99年。Buda)
- *BARRIO CHINO:Mediterra Nostra B
(マルセイユの地中海バンド。アラブ=地中海音楽からキューバ音楽まで、それぞれの民俗音楽的要素をより濃厚に強調したエキゾチックなバンド。2001作。Tinder)
- *GARGUILLES:Sur Le Bord Du Cote B
(ブルターニュの男性4人組。Gabriel YacoubスタイルのChristian Gattepailleのヴォーカルをフィーチャーしたアカペラからロックそしてクズマー〜ジャズ風まで。ゲスト:Gabriel Yacoub。2000作。Coop Breizh)

[CD/SWITZERLAND]

- *SWITZERLAND - Archive Of Folk Music C
(副題"Collection Constantin Brailoiu{1927-1951}。スイスのサントゥールというカハマー・ダルシマ-の姉妹楽器のハックブレットの奏者 Constantin Brailoiuの名演奏集。全65曲収録。英語解説書付。DVDケース仕様。2009作。Disques VDE-GALLO)

[CD/PORTUGAL]

- *JULIO PEREIRA:Graffiti C
(J. Pereiraは70年代から活動するマル楽器奏者。本作は2010年作で、現時点で、彼の最も最近作。その昔、彼のギターやカキニョによるブラジル音楽やインドネシア音楽へとつながるポルトガル音楽をよく聴いた

もの。本作も昔よく聴いた頃と変わらず海洋音楽的色彩感豊かなサウンドが踊るように鳴り響く。常夏気分。2010 作。JB&Viceversa)

*VIELAS DE LISBOA

A

(収録年 1956 年～72 年のファトの名曲選集。全 21 曲。Ada De Castro, Amalia Rodrigues, Antonio Calvario, Beatriz Da Conceicao, Herminia Silva 他。2010 作。Iplay)

[CD/SPAIN&BRETAGNE]

*PACO DIEZ&AN TRISKELL:Castillos En El Mar

C

(スペインのフォーク・シンガーの P. Diez とポルトガルのヴァイオリン・ハーフトーナの An Triskell のコラボレーション。2006 作。Several)

[CD/SPAIN]

*LA FRONTERA:Mistra

C

(Miranda Cortes {ヴォーカル、アコ}, Michele Sguotti {ヴォーカル、ヴァイオリン、ヴァイタ}, Michele Pucci {フラメンコ・ギター}, Lorenzo Abu Gasperoni {ハーモニカ}) の一姫三太郎の La Frontera が夢想し、創作する音楽は、スペインがイスラム文化圏だった時代の南スペインのアラブ・アンダルシア音楽。これが結構汎アラブ・地中海志向ワールド・ミュージック風で、エキゾチックで刺激的。Michele のソリッドなフラメンコ・ギターをはじめ、各種楽器の演奏は卓越していて、しかも異種交配的音楽の醍醐味は圧巻。中世以前の南スペインの路地裏にでも迷い込んだかのような印象だ。紅一点のヴォーカルの Miranda はフランス人のようだが、高潔で妖艶だし、もう一人のヴォーカル加の Michele はカンテ・フラメンカのカンテの唱法で圧倒される。本作は彼らの四枚目。2015 作。Felmay)

*FOLK ON CREST:Lonxe

C

(Folk On Crest は紅一点の歌姫 Yolanda Rio を擁するサラマンカの一姫五太郎のフォーク・ロック・バンド。彼らはケルト音楽世界の隆盛に刺激を受けて結成されたバンドで、本作はスペインのカスティーリャ・イ・レオン州の伝統歌をスペイン・ケルト圏のガリシアやアストゥーリアスの音楽的要素を混ぜて、スペイン版ケルティックなフォーク・ロックを堂々と体現している。二台のギターがケルトの風を巻き起こす。2014 作。Severalia)

*FOLK ON CREST:Calle De La Botica

C

(こちらは「スペインに Folk On Crest 有り！」を誇示した Folk On Crest の衝撃のデビュー作。2011 作。Severalia)

*CABIELLA:Cabiella Of Sons

C

(Cabiella はカスティーリャ・イ・レオン州のブルゴス県の 4 人組トラッド・グループ。楽器編成は、フルト、アコ、パンテレイタ、ヴァイタ、ギター、ハーモニカ。この楽器編成に女性ヴォーカル {Eugenia Lopez} の唄。僕の耳にはケルティックな匂いを強く感じる。ガリシアのバンドと言われても、違和感を覚えない。彼らの、いわばスペイン風味のケルティック・ミュージックは、実にかっこいい。シンガーの Eugenia のシンキングも風薫るシンキングで清々しい。各種楽器のアコースティックな清々しさが何とも快感。ティスクもトレイも落ち葉だらけ。2013 作。Folka)

- *MENAYA FOLK: Eclipse C
 (Menaya Folk は 6 人組フォーク・ロック・バンド。中世・ルネサンス音楽からケルト音楽そしてフュージョン音楽までのレンジでおおらかに、華麗にロックする。彼らのアコースティックは 70 年代～80 年代の頃の、ヨーロッパのロック・バンドがトラディショナルなものを取り込んで、ヨーロッパ風エレガントなロックを創作していた頃のフォーク・ロックを思い起こさせる。文字通り、「フォーク・ロック」という音楽の方向性が明確な分、音楽が明快でストレートに楽しめる。みんな元気良いなあ。2013 作。Several)
- *PACO DIEZ & JAIME VIDAL: Romanceando C
 (スペインの叙事詩/バラッドのロマンス集。ライヴ。ヴォーカルの Paco Diez は、中世の吟遊詩人と化し、ハーモニカ、ギター、マンドリン、タンバリン、パーカッション[弦楽器の中世スペイン風味もいいが、タンバリンやパーカッション等の打楽器の中世スペイン風味もいい]を奏し、うたい、Jamie Vidal がピアノで伴奏を付ける。ポピュラーなロマンスも多いようで、口ずさむ観客も。2011 作。Severalia)
- *TAHONA: Relamidos C
 (1972 年結成で本作が 11 枚目というレオン・カスティーリャの男性トリオ“Tahona”の本作のテーマは「料理への賛辞」。アコ、ヴァイオリン、ギター、リュート、各種パーカッションが南欧ムードを高める中、三人が様々なシンキング・スタイルで伝統歌を、ある時はユーモアたっぷりに、またある時は祝宴ムードたっぷりに料理して楽しませる。2009 作。Several)
- *RUAILLE BUAILLE: Ru:le Bu:le C
 (スペインの 5 人組ケルティック・バンド。アイルッシュとスコティッシュを中心に現地のヴァン・ミュージシャン顔負けのセッションを繰り広げ、名前から推察してスコットランド人とおぼしき Duncan Bennett [唯一の現地人] が唄心ある味わい深いシンキングを披露する。タイタニックで有名になった“John [Sean] Ryan's Polkas”ほか全 9 トラック。編成はホイッスル、ギター、アラン・パイプス、ブズーキ、ギター、マンドリン、フィドル、パーカッション他。2008 作。Several)
- *TRIQUEL: Sin Hacer Na C
 (6 人組ケルティック・トラディショナル・ロック・バンド“Triquel”の豪快なケルティック・ロック。エレキギター、ベース、ドラムスがタイトなロックをたたき出し、フルート、フィドル、ホイッスルがケルトの風を巻き起こす。そして Juan Jose Carton のヴォーカルがまた圧巻。いわばスペインの Runrig。手に汗握らぬものはなし。2008 作。Armando)
- *NOUR: Papier Mullet C
 (ハルセナのアラブ・ムード濃厚な過激な 6 人組。アラブ歌謡とヒップ・ホップと北アフリカ音楽が合体し過激にロックしたようなワールド・ミュージック。Cheb Balowski のムハムマド・アリ・スタイルのパーカッション&ドラミングの Yacine Belahcene のヴォーカルといい、海でアラブ世界に繋がる東スペインならではの異国情緒な先鋭的ロックといいすこぶるテンションが高い。ブックレットにもアラブ文字。2007 作。Kasba)
- *JOAQUIN DIAZ: Navidad En Castilla Y Leon B
 (スペイン・フォーク界のヴァン・シンガーで民謡研究家の J. Diaz の本作は自身の故郷カスティーリャ・イ・レオン地方のクリスマス・ソング集。Joaquin の吟味された柔和で気高い唄と音楽と共にカスティーリャ・イ・レオン地方のクリスマス・ソングの世界へ…。微妙にヴァイブラートの利いたソフトなヴォイスはクリスマスの厳かな

空気の中で一層生えている。P24 のブックレット付。2002 作。Fundacion Centro Etnografico Jaquin Diaz)

- *XAVIER BARO:Flors De Joglaria ¥1000
(スペインのフォーク・シンガー。カタルーニャのフォーク・シンガーの X. Baro の本作は 70 年代
ブルティッシュ・フォーク・スタイルのフォーク/フォーク・ロック。Xavier は夢の旅人のイメージ
でのトルバドールの的でエレキ&アコースティック・ギター、ベース、オルガン、ピアノによる甘
味ある優美なフォーク/フォーク・ロック。教会風オルガンや甘みあるギター等が 70
年代風ブルティッシュ・フォークの夢見心地さを引き立たせ、Xavier の唄は仮想
の夢のサントの中でゆったり舞う。スペインのシンガーによる耽美的ブル
ティッシュ・フォーク。2006 作。Quadrant)
- *PACO DIEZ:Romances De Caballeros Y Doncellas C
(スペインの叙事詩/バラッドのロマンス集。音楽の底に流れるのはアラブが香
る中世スペイン音楽。Paco は巨匠 Joaquin Diaz 風柔和で気高く滑らかな
ガール・フォークの内に汎アラブ=地中海音楽絵巻的サントを巧みに取り込み、
エキゾチックな香り高いロマンス音楽をナチュラルに創作している。2007 作。
Several)
- *DIVERTIMENTO:Folk C
(カンタリアの電気リック・トラット・バンドだが、ガイトとダブルリードの笛そして
各種パーカッション等の民俗楽器から作り出される民俗的サントはケルト系
からアラブ系まで汎スペイン伝統音楽的幅の音楽性を保持。民俗楽器奏
者とロック・バンドがセッションするようなタイプの電気リック・トラット。2006 作。
Folka)
- *MAR DEL NORTE:Piramide C
(不思議な音楽。「ケルト」が大きな要素ではあるが、様々な不思議な音
楽がサビク模様で編み上げられた極楽音楽。フルトとティン・ホイッスルがフイ
チャーされた曲が中心で、典雅なのから豪快なまで様々かつ色と
りどり。2006 作。Several)
- *EDUARDO PANIAGUA:Tres Culturas C
(副題“Three Cultures—Jews, Christian and Muslims in Medieval
Spain”。98 作。Pneuma)
- *QUARTETO MEDIEVAL DE URUENA
:La Lirica Sagrada En Los Trovadores ¥4880
(どっしり重い CDブック。Luis Delgado, Cesar Carazo, Jaime Munoz,
David Mayoral が挑む中世トルバドール音楽。2001 作。tf media)
- *CASTILLA D
(カスティーリャの音楽。24 曲入 2 枚組。96 作。Fonomusic)
- *BRENGA ASTUR:Cancios Del Gochu Xabaz B
(ケルト圏アストゥリアスからどでかいケルティック・ロック・バンド。ダイナミックなフォーク
ロック圧倒し、エキゾチック&エレガントな女性ヴォーカルで骨抜きにする。99 作。
Fonofolk)

[CD/ASTURIES]

- *DUERNA:A Mansalva B
(“Prau Escenariu” という国際フォーク・ミュージック・コンペティションで優勝の
アストゥリアスの 6 人組ケルティック・トラット・バンドだ。彼らが目指す音楽はオリジ
ナルなケルト音楽。Estefania の女だてらの、大地揺るがすパワフルなシンギ

ソングとガイトをフィーチャーした上昇気流を巻き起こすサウンドは、実に頼もしい。2011作。Folka)

- *CELESTINA "CA SANCHU":Ambas (Grau) B
(Celestina 婆さんによるアストウリアスの伝承歌集。ヨまたは男性とのデュエットでうたわれる伝承歌の数々はぼくの耳には Joaquin Diaz がうたう他のスペインの伝承歌から伝わってくる気品ある味わいと同種のものが感じられ、音感的にはアストウリアスという地域性を超えて、スペインの伝承歌として実に味わい深い。スペインの伝承歌ならではの品格ある味わいがたまらない魅力。全32トラック。2007作。Fono Astur)
- *ASTURIAS A
(アストウリアスの音楽。24曲入2枚組。96作。Fonomusic)

[CD/GALICIA]

- *MILLADOIRO:Castellum Honesti (89作。Ion Musica) A
*MILLADOIRO:Galicia No Tempo (90作。Discmedi Blau) A
*MILLADOIRO:3 (92作。CBS) A
*MILLADOIRO:Solfafría (ゲスト:Paddy Moloney。92作。CBS) A
*MILLADOIRO:Auga De Maio ¥1000
(購入者からの連絡で開封したところ、ブックレットを留めるホチキスがさびていました。格安にて。99作。Discmedi Blau)
- *BERROGUETTO:Kosmogonias ¥2880
(三つ折特性ジャケットのCD+DVDセット。ガイト奏者でもある Xabier Diaz をヴォーカルに迎えたガリシアの大型トラッド・バンドの Berroguetto の4枚目にあたる本作は横綱級ガリシア・トラッド。全てのサウンドが卓越していて、美しく響き合い、他のバンドの追隨を許さぬガリシア・ミュージックの王者の音楽。DVDはPAL方式で、メンバーのインタビューやバンドのライブにイメージ・フィルム等。2010作。Discmedi)
- *BERROGUETTO:Viaxe Por Urticaria C
(ガリシアの最先端トラッド・バンドの Berroguetto の99年作。BOA)
- *BERROGUETTO:Hepta C
(威風堂々としたリジナルなガリシア音楽。ゲスト:Kalman Balogh [ハンガリー]、Markus Svesson [スウェーデン]、Jiva Gasparian [アルメニア]。特性三つ折りジャケット。2001作。Do Fol)
- *PANCHO AVAREZ:Solidos Galicianos B
(「一言で言えば従前の才気走った音楽作りを程よく抑えて、より自然体でよりインティメートな感覚でさらりと演じたのが本作と言えるだろう。パンチョの音楽は枯れた味わいでは決してないけれど、この変化は良い意味での成熟を感じさせる。加えて、独特の淡さを持った美しさが全編に貫かれているのが何とも素晴らしい」「本作はアルバム・タイトルからも彼のガリシア文化への一貫した敬愛の情が伺えるが、シャカリキになって一つのテーマを訴えるというのではなく、一種の余裕を感じさせる包容力のある音楽となっているのだ」。白石和良さんの乱聴記より。2009作。Pai)
- *MALVELA:Da Mina Xanela A Tua B
(Na Luaのヴォーカルでガリシアを代表するトラッド・シンガーの Uxia の共同プロジェクトで、シンガーの一人として参加のガリシアとポルトガルの民衆音楽を

姉妹音楽として捉え、ガリシア風であり、かつポルトガル風なのか、南欧的で牧歌的な民謡など Uxia を含めた民謡おばさん達の底力ある快活なヴォーカルと軽やかな音楽が楽しい。カヴァキニョのココロしたサウンドがくすぐったい。2007 作。Pai)

*DIPLOMATICO:Komunikando C
(ゲスト:Uxia, Susana Seivane Isaac Palacin [Berroguetto]。2003 作。Boa)

*FALTRIQUEIRA:Effecto B
(ガリシアの女性 4 人 [前作から一人減った] のヴォーカル・グループの 4 年振りの本作はバスクでの録音で Pascal Gaigne がプロデュース。パントレタ [片面太鼓] を叩き、澁刺と唄う彼女等の唄と音楽は若々しくカラフル。ガリシアの楽士達の音楽は汎地中海音楽的エキゾティズムを注ぎ込み、陽光降り注ぐエキゾチック・サウンド。2006 作。Resistencia)

*ABRAXAS:Ruina Montium C
(1999 年結成のガリシアン・ケルト系バンド。ガリシアのバンドか定かではないが、Hevia, Cristina Pato, Leilia 等のガリシアのハーパーやグループとの共演経験を持つ彼らの音楽はリーダ格でガイツ&フルト奏者を中心にギター、バングォー、ヴァイオリン、サフォニー、アコーディオン、クラリネット、フズーキ、サクス、ベース、各種パーカッション等によるガリシア音楽プラスαの音楽。2005 作。Legados)

*AVALON:Lua Meiga B
(ガリシアから登場の若き女性 6 人のケルティック・バンドのデビュー作。2000 年録音。Blau)

*HEVIA:Tierra De Nadie/No Man's Land ¥1500
(ガリシアではなくアストゥリアスのハグハーパーと思われるが、彼の電気ハグハーパーとアストゥリアン・ハグハーパーはスピリチュアルな粋まで到達している。音楽は自身のルーツを基盤にしたもので、ロックっぽい斬新な音作りや土俗的匂いを醗酵さす女性ヴォーカルの挿入等も極めて独自色を発散している。素晴らしきハーパーだ。2000 作。EMI-Odeon)

*LEIXAPREN:Gaitropos C
(伝統的なトラッドを肥やしに中世音楽まで視野に入れた典雅で清々しい音楽。カリテ、フルト、ガイツ等の笛楽器の風の流りにアコやギター、パーカッション等が軽やかに絡まる。風のように軽やかでいて、ちゃんとガリシアン・トラッドの土着の音楽の躍動感や土臭さをもキープ。ゲスト: Panch Alvarez。92 作。Sonifolk)

*GALICIA A
(トラッドからポピュラー音楽、宗教歌まで全 21 曲。89 作。Fonomusic)

*FUXAN OS VENTOS:Sempre E Mais Despois B
(ヴェテラン・トラッド・バンドの 7 枚目。ガリシアの根っこの愛すべき民衆音楽。必聴! 99 作。Fonofolk)

*CHOUTEIRA:Folla De Lata C
(ガリシア屈指のヴェテラン・トラッド・シンガー、Uxia を擁する Chouteira の 3rd。3 本のプラスを導入した斬新な音作りによる柔軟で力強いガリシアン・トラッド・アルバム。金属の襪のオマケ付。2000 作。Do Fol)
: Iacobus Magnus (94 作。Discomedi Blau) A

[CD/ITALY]

- *RE NILIU: In A Cosmic Ear C
(1979年結成のイタリアのカラブリアのトラット・バンドのRe Niliuの、もうその存在を忘れかけていた時に、新作リリースの情報。思えば1980年代、彼らの地中海=アラブ志向のトラットは、イタリアの北部と南部の音楽の違いを明確に体现していて、一気にイタリア南部やサルデーニャの音楽に目を見開かせた。1988年作の“Caravi”以来、実に27年ぶりに聴く彼らの音楽は、よりカラブリアの民俗音楽に根ざしつつ、音楽性はワールド・ミュージックのレベルで多様かつ華やかで、伝統楽器とロックユニットの混成はロックのエネルギーをも取り込んでいて、さらなる高みに達していて、ぶっ飛んでしまった。「ルーツ回帰は夢を探検すること」の言葉は、彼らのピソットながら、多層的文化を持つカラブリアの音楽を熱く魅力的な物に変幻させている。お帰り、Re Niliu!!!2015作。Alfa Music)
- *PICCOLA ORCHESTRA ZACLEN B
:La Musica Di Carlo Brighi ‘Zaclen’
(1853年、ローマ生まれの音楽家で作曲家のカロ・ブリギ〔ニックネーム“Zaclen”〕のダンス音楽はローマのクラブやダンスホールで大人気だったという。本作は彼の楽団が演奏したダンス音楽〔楽譜が公共図書館に保存されていて、ワルツ465曲、ポルカ141曲他〕を5人の楽師が当時の音楽を忠実に再現したもの。英語解説付。全20曲。Tesa Dancer)
- *ALESSANDRO TOMBESI: Barene B
(1994年生まれの若きハープ奏者でシンガーのデビュー作。ケルトのハープとは違う、イタリアはヴェネツィアの伝統音楽の土壌の上に咲いた優雅で穏やかなハープ・ミュージック。音楽的に完成度が高く、味わいが深い。2011作。Calicanto)
- *YO YO MUNDI: Munfra B
(本作は北イタリアのピエモンテにあるモンフェラートという町の歴史、文化を音楽で表現したもので、北イタリアの民族音楽として、音楽の水準が高く、また多彩な音楽はモザイク的で、かつまた全曲を通して、音楽賛歌或いは祝祭的ムードが音楽を華やかにしている。この地域のミクス文化を象徴する音楽の多彩さが実に楽しい。ゲスト: Steve Wickham {Waterboys}, Sergio Berardo {Lou Dalfin}, Filippo Gambetta, Fabio Rinaudo&Daniele Caronna {Birking Tree} 他。2011作。Felmay)
- *A FIL DE CIEL: Vertigo B
(2004年に結成された北イタリアのトラット・グループによるオクシタニア地域の中世から近世の伝統歌を中心にした南欧トラット風に典雅で刺激的な南欧のトラット・アルバム。何よりも魅力的なのはハーティエ・ガティエ奏者でリード・ヴォカルのRosella Pellerinoの南欧の女性シンガー特有のエキゾチックで豊かなシンギング。今日の勢いある南欧のトラットだ。2010作。FolkClub EthnoSuoni)
- *BANDABRISCA: Io Ballo Brisco B
(1995年結成の北イタリアの7人編成トラット・バンドのデビュー作でライブ盤。楽器編成はギター、アコ、ヴァイオリン、フルト、サクソ、ベース、マンドリン、ピッコロ。彼らは本来ダンス・バンドなのだが、彼らは余興のつもりなのだろうが、

実は男性トリオでのアカペラ・シンキングも素晴らしい。ピッコロやアコガリズムを取るダンス音楽は独特{このサウンドこそ北イタリアの優雅なダンス・サウンド}で、John Kirkpatrickの“Jump At The Sun”なんかも中世の街角で聞こえてきそうな楽しげなダンス音楽の趣。2010作。FolkClub EthnoSuoni)

- *7 KM DA GERUSALEMME C
(Pivio E Aldo De Scalziによるサウンド。古代神話を夢想したような音楽。アラブ的でケルト的で古代ギリシャ的かつ前衛的で現代的な万華鏡音楽。Anunaのような女性合唱があったり、男女の不思議な吟唱があったり、ケルティック・ロック風なのがあったり、神秘性を軸に音楽のスケールがでかい。画面を観て一層醍醐味ある音楽だろう。2007作。CNI)
- *SOFFI d' ANCIA “Decennale Del Festival “Pifferi”, Muse E Zampogne C
(10年の歴史のフェスティバルからバグパイプ、各種ダブルリード楽器の演奏を集めた編集盤。Calicanto, Birking Three, etc. 全21トラック。2005作。Radio Music)
- *NIDI d' ARAC:Nidi d' Arac C
*ANGELO BRANDUARDI:Caminando Caminando(96作。EU EMI)¥1680
*ALPHABASS:T Ar Ant A Tr A Nce B
(何とも不思議な音楽。南イタリアの音楽をサブリング多用し大改造したもののようだが、音楽だけ聴けば、アラブ音楽かと思うほど、男性ヴォーカルはアラブ色濃いし、打ち込みのリズムも流れるメロディーもアラブ色を帯びている。2003作。Sottosuono)
- *N. C. C. P. :Teatrante ¥1780
(NCCPのベスト盤?11曲入。2001作。Warner Europe)
- ※ナポリの古謡とNCCP ¥700
(その昔当店で発行した書籍です。by ニタ村発生。1988年発刊。田圃鈴)
- *ARTURO STALTERI:Rings-II Decimo Anello B
(ピアニスト兼作曲家が「指輪物語」にインスパイアされて作曲した全曲「指輪物語」がらみのケルト風味ファンタジー音楽。イタリアでベストセラー。2003作。Materiali Sonori)
- *BALLATE ARCADICHE:Canzonie E Brani Strumentali Di Tradizione Celtica ¥1000
(ケルト音楽に挑む男性トリオ。アイリッシュ・トラッドの著名曲ばかりをヴォーカル、ブラス、クラシック・ギター、フルート等で気品高く、ロマンティックに唄い、演奏する。イタリア産夢想ケルト音楽。全18曲。Arx Collana)
- *UARAGNIAUN:Uaili(2枚目。96作。Officina&Piazza) B
*VINCENZO ZITELLO TRIO:Concerto B
(ケルティック・ハープ奏者V. Zitello率いるトリオによるライブ。ハープの持つ優美さ、宇宙的深遠さを追求した彼等独特な音楽。2001作。Dunya)
- *SPACCANAPOLI:Spaccanapoli A
(Spaccanapoliはあの白熱の大衆音楽集団E Zeziで育ったナポリの5人組大衆音楽グループ。彼等の出発点は自分達固有の文化の復興。E Zeziの血を受け継ぐMonica Pintoの腹の底からの魂の唄と大地揺るがすダイミクナトラッド・サウンドは正に圧巻。2000作。Real World)

[CD/MEDITERRANEAN]

- *NOVALIA:10 B
(イタリアのヴェネチアン・フォーク・ロック・バンドのライヴ。イタリアのバンドならではのアラブ=地中海の民俗楽器とロック系楽器それにケルト系民俗楽器によるフォーク・ロックは地中海風味の潔いフォーク・ロック。入魂のライヴ。2000 作。GNI)
- *PAVLO:Fantasia C
(地中海キリストの Pavlo によるマジカな汎地中海メロディ集。アラブ〜ラテン〜汎地中海風味の全 13 曲。1999/2004 作。Justin Time)
は NTSC 版で、Thanassis のユニークなダンスが楽しめます。2015 作。Buda)

[CD/POLAND]

- *BERKLEDDY:Muzyka Nasluchana C
(副題“New Folk Music From Poland”。祖父から習ったという Cymbaly {ハンマー・ダルシマー} 奏者 Andrzej Zajko の Cymbaly をフィーチャーしたポーランドのトラッド。エレキギターやドラムス等の 6 人組のバンド編成で清涼感あるフォーク・ロック。ブックレットには Cymbaly の歴史と話 {英訳} もあり。98 作。Orange World)
- *WARSAW VILLAGE BAND:People's Spring C
(2001 年作。ポーランド原盤。Orange World)

[CD/SLOVENIA]

- *MAGNIFICO:Grande Finale A
(Balkanbeats Vol. 1 に登場のイタリアの東の国スロヴェニアのジプシー・ロック・バンド。フランス付きのロック・バンド編成でジプシー音楽とアクの強いカントリー・ロックを泥臭く混ぜこぜにした活力あるジプシー・ロック。大半の唄は英語で Magnifico のヴォーカルは野太い。不思議な感触の大胆なロックだ。2007 作。Arih)

[CD/UKRAINE]

- *SVITLANA NIANIO:Kytytsi B
(三つ折りの厚紙ジャケットの左袋に CD、右袋にリスト集、真中にブックレットという外観は安っぽくも手作りの愛情ある作りの CD。早春の香りのする Svitlana のか細く美しく自由に舞うようなシンギングがそれ自体がえも言われぬ魅力。全 16 曲夢の中保証。99 作。Koka)

[CD/CZECH]

- *BRAN:An Delienn B
(ブルターニュの音楽の影響を強く受けた女性一人を含むチェコの 6 人組トラッド・バンド。ヴォーカルのほか楽器編成はアコ、クラリネット、ボンバルド、フルト、コントラバス、ギター、ブズーキ、パーカッション、ホイッスル。ブルターニュのトラッド・シンガーの Yann-Fanch Kemener をホフツさせる Dewi Pajot の見事なシンギングとブレトン・ミュージック風ながら、彼らならではの気高さ・典雅さとフォーク・ロックっぽい力風を切る疾走感と醍醐味は新鮮。2008 作。Indies)
- *NEREZ:Jednou Mer, 2xNerez B
(本作が 4 枚目という 4 人組。チェコ、ロシア、ポーランド、ジプシー、ユダヤ、スペイン

のフォーク・ミュージックの影響を受けたという彼らの音楽だが、オリジナル・アルバムでヴォーカルの Zdenek Vrestal のメロディックだったり、メロコリックな SSW 的な持ち味にシンプルなリズムによる独創的アレンジで自分の世界を彩っている。2004 作。Indies)

[CD/SLOVAKIA]

- *FIGUR BANDA: Hungarian Village Music From Slovakia C
(スロヴァキアのハンガリー音楽。トランシルヴァニアの活きのトラッド・バンドをホフツさせるハンガリー臭たっぷりの村の音楽。楽器編成も正統派ハンガリアン・バンド編成でオバさんの歌を含めて味わいが濃い。ブックレット収納のポケットはあるが、ブックレットはない。2002 作。Ifju Szivek)

[CD/CROATIA]

- *DARKO RUNDEK & CARGO ORKESTAR: Mhm A-ha Oh Yeah Da-da B
(民俗性豊かな音楽をベースにジャズやロックやクラシック、レゲエ等ジャンルを超えた音楽で自らが流民であることから生まれた孤独感や社会的メッセージ等を唄と多様な音楽で創作力豊かに表現している。英語解説付。2006 作。Pi'ra:nha)

[CD/SAMI, RUSSIA]

- *MARI BOINE-INNA ZHELANNAYA-SERGEY STAROSTIN
: Winter In Moscow a
(サミの Mari と Farlanders の Inna&Sergey 等による、正に魂の交感。その呪術性と土俗性とテンションの高さは、比べるものなし。音楽はロシア的なものをベースにしたジャズやロックも混在の独特なもの。Mari の魂の唄と Inna&Sergey の魂の唄とがロシアの大地で響き合う。絶品。92 年録音。2001 作。Jaro)

[CD/RUSSIA]

- *INNA ZHELANNAYA: Izvorot ¥2690
(須田さんの“2014 年 Best10”で知った Inna の二枚組の新譜。以前に Inna と仕入れ交渉をしたときのメールを旧パソコンで見つけ、早速ご本人に発注し、長い時間をかけてようやく入荷。前回は彼女の要求通りに米ドルを航空書留で送ったら、彼女の元に届いたのはひと月後。今回も同じくらいの日数がかかるだろうと思って、その頃にメールで聞いたら、「今インフルエンザにかかっている、発送はもう少し待って」と。CD が届いたのはそれから約三週間後だったか。長い間待った甲斐がありましたよ。本作で Inna と彼女のバンドは、ロシア各地の民謡を、おおよそ民謡の音楽としては常識的には考えられないほどラディカルにロック化していて、ぶっ飛んでしまった。彼女独特な混沌として暗鬱なロシア・トラッドは、スウェーデンの革新的トラッドと通じ合う土俗性を持っているのは、興味深い。常に究極を目指す Inna は偉大なるロシア民謡の革命家だ。ロシアの大地に永眠中の地霊や精霊達も歓喜して狂い踊りしそう。2014 作。Inna Zhelannaya)
- *VOLGA: Kumushki Pjut C
(Volga=Anzhelika Manukyan {ヴォーカル}, Roman Lebedev {ギター、電子

楽器}, Uri Balashov {自作パーカッション、チベットのコーブ} = は、紅一点の Anzhelika をヴォーカルに据えたモスクワのヴァンガード・ワールド・ミュージック・グループ。聖と俗を併せ持った Anzhelika のアビリティ風奇怪なシンギングと、多様なダンスのリズムやロシアの民謡やハウス・ミュージック等を混沌と混ぜ合わせて即興的に創作した古い言葉だが、サイケデリックなフォーク・ロックの異様さと先鋭さは独特でもの凄い。なにやら太古のロシアにタイムスリップするかの気分。2014 作。Asphalt Tango)

*COSMONAUTIX: Energi ja

B

(“Russian Balalaika Speedfolk” と呼ばれる男性 4 人組ロシア・フォーク・バンドだが、彼らのバラライカを全面に押し出したサウンドとダンス的なフォーク・ロックは独特で、ロシア民謡＋少々のクズマーの匂いをこれでもか、これでもかと振りまく。そのテンポの速さとヴォーカルの Morgan Nickolay の大上段に構えた風の唄はユーモラスでもある。元気ハツツなロシア・バンドだ。2011 作。Piranha)

*SARATOVSKAYA

¥2780

(CD+DVDセット。副題“Traditional Russian Accordion Music Of The Middle Volga Region”。1860 年代からロシアのサトフで演奏されているサトフ・ヴァイニック・ポタン式アコーディオンの演奏家 10 名の演奏を収録した 40トラック収録 CD。2010 作。Pan)

*FARLANDERS: Farlanders

B

(Inna Zhelannaya がヴォーカルの Farlaners の 2 枚目。角笛、バグパイプ、クラリネット等吹奏楽器が全面に出た彼等独特な土俗的音楽は圧巻。98 作。トイツJaro)

[CD/GEORGIA]

*GEORGIAN FOLK SONGS

¥1580

(ゲルジアのフォーク・ソング集。全 17 曲。合唱を中心にヴォーカルの魅力が多彩。94 作。ロシア Sound Of The World)

[CD/BULGARIA]

*HRISTINA BELEVA & PETAR MILANOV: Neka Ti Razkaja

C

(シンガーで、ブルガリアの伝統的擦弦楽器のガドゥルカの演奏家の Hrisina とギター奏者の Peter との二人組。二人とも Philip Koutev Folklore Ensemble の出身。全曲二人の共作曲。ガドゥルカとギターの演奏は、ハンガリーの Makam Es Kolinda っぽいサウンドを奏でていて、加えてギターはジャズっぽさを加えた演奏で、オリエンタルなエキゾティシズムを発散し、Hrisina は自身が奏でるガドゥルカの音色のようにエキゾティックに軽やかにシンギングする。聞き流しても、聴き入っても快感。2014 作。Hristina Beleva & Petar Milanov)

*ORATNITZA: Oratnitza

B

(ブルガリアの音楽というとブルガリア・ヴォイス等女性ヴォーカルを中心に素の「民謡」が多かったが、彼らは異色。ブルガリアの民族のメロディーとリズムを発掘し、勢いある彼らのフォーク・ミュージック/ワールド・ミュージックを創作している。音楽に向かう姿勢も音楽も北欧の先鋭トラッド・バンドに通じるところがある。2012 作。Fusion Embassy)

- *BULGARIAN MUSICAL FOLKLORE a
 (by "Svetoslav Obretenov" Bulgarian National Choir.全 22 曲。
 91 作。Gega)
 *BULGARKA:Vocal Trio(89 作。Balkanton) a

[CD/HUNGARY]

- *MAKAM:Sindbad B
 (Lovasz Iren がヴォーカルの Makam の 2005 作。Z Paravan Kiado)
 *MAKAM:Akom Bakom B
 (Makam の本作は子供向け。ジャケットもブックレットも幼稚園の子が描いた
 ようなクローン画。音楽は手抜きなしの魅惑の Makamサウンド。2006 作。
 Hangveto)
 *MAKAM:Zarandokenek(2008 作。Z Paravan Kiado) B
 *ORFEO:Zenezscsoport B
 (Kolinda 結成前の Kolinda のメンバー達の貴重な音源集。Kolinda はデ
 ビュー時から、ロック・ファンにも衝撃を走らせた完成品以上の完成品だっ
 たが、本作では、Kolinda 前夜の完成音楽、ハンガリー伝統音楽等が聴け
 る。試行錯誤時代の Kolinda と Kolinda の姉妹グループの Vizonto の興
 味深い魂震わす演唱だ。全 22 曲。P62 のブックレット付。2011 作。KOKE-001)
 *KORPAS EVA:Szerelem, Szerelem B
 (英題"Love, Love"。Primas Parade, Tukros Band, Lakatos Robert な
 どのアルバムで麗しのヴォーカルを披露しているトラッド・シンガーの Eva のソロ。
 本作は、ジャズ風味のハンガリアン・トラッド。Eva のイグニッションで独特な麗し
 さは不思議な安らぎ感がある。Muzsikas 系でも Makam 系でもな新
 感覚の魅惑のハンガリアン・トラッド・アルバムだ。全 18 曲。2010 作。
 FolkEuropa)
 *MESZECSINKA:Meszecsinka C
 (アヴがかった Makam&Kolinda に初期 Kolinda 時代のエネルギー + α を注
 入したかのような物凄い土着的エネルギーに満ちたフォーク・ロックだ。とい
 うのが前半。6 曲目の"Kuku"という民謡風の唄から傾向が変わる。
 7 曲目は前半と同じ傾向だが、8 曲目以降最後 11 曲目まで、今度は音
 楽がシンプルかつスローになり、Annamaria の唄が魔性を帯びる。ミスマの
 利いた悠久のヴォーカルが素晴らしい。圧巻。2012 作。NarRator)
 *BOGNAR SZILVIA:Cshintekerinto B
 (Szilvia の本作はハンガリアン・トラッド・ミュージックの新たな魅力を教えてく
 れる魔法の音楽。Szilvia の視線は子ども。だからこそ、Szilvia の
 シンキングは柔らかく優しいし、各種民俗楽器 + α による音楽はハンガ
 リアン・トラッドのサウンドで自由に絵を描くように彩る。マルチタスクなジャケッ
 ト意匠もブックレットもデザイン賞を上げたいほど。ボーナス・シングルCD 付。
 2011 作。Gryllus)
 *BIRO ESZTER:Zeneim 2000 - 2006 B
 (Biro Eszter が自分のバンド Biro Eszter Quintet を結成する以前
 にソロ・シンガーとして活動していた時代の音源の編集盤。唄はハンガリー
 語と英語の両方で、音楽はラスト収録の一曲"Outro"以外はハンガリー色
 はなく、大型ポップ・ロック・シンガーのレベルの魅惑の今日的音楽。P20 のブ
 ックレットの各ページが Biro Eszter 写真集のよう。トラッド系シンガーとして

再出発する前に一時代を築いていたことを証明する華やかな編集盤だ。歌唱力は疑いなくワールド・クラス。+容姿も。2006 作。Miss Biro)

- *EKTAR:Kontrapunkt C
(Ektar はあの Toth Evelin がヴォーカルの七人組。ある種 Evelin のヴォーカルというかミンク というかスクットは究極の追分的。音楽は Makam の音楽エッセンスを抽出したこのようなエキゾチックでスピリチュアルな音楽。全編、サラングが発するアラブ情緒がお香のようにゆらゆらと立ち昇り、Evelin の魂の唄はまるで宙に浮く羽毛のようで、風や光に感応し、唄を発しているかのよう。2010 作。Folk Europa)
- *TEKA:Wildflowers C
(副題“Hungarian Village Music”。Sebestyen Marta with Muzsikas を彷彿させる Tarnoki Beatrix with Teka の気高く、凛として美しい Beatrix のシンキングとハンガリアン・トラッドの土俗的な音楽を追求しつつ創作力豊かな音楽は躍動感と勢いがみなぎり魅力的。ハンガリアン・トラッドの王道をゆく頼もしいバンドだ。全 18 曲。2010 作。Teka)
- *SONDORGO & FERUS MUSTAFOV:In Concert ¥1000
(南スラブの伝統音楽グループの Sondorgo とマケドニアのジプシー音楽の王と呼ばれているクラリネット兼サクソ奏者の Ferus Mustafov のコラボは変拍子多用で重層的リズムの、滅茶苦茶躍動的なマケドニアン・ジプシー音楽色濃厚な音楽。Agnes Herczku がコブシの利いたシンキングも最高。2008 作。Sondisc)
- *DUTAR:Idegen Vendeg C
(次世代のスケルの大きなバンド。一曲目のまるでヴァルティケを想わず遊び唄のような快活なテメルの Csoké Renata のヴォーカルとハンガリーの民俗楽器を駆使したエキゾチックに熱く大地の音をたたき出す音楽に圧倒されたあと自由自在に舞うような Renata のヴォーカルと民俗音楽を超えた即興的音楽とが一体化したハイレベルなハンガリー発の音楽を展開する。2008 作。Fono)
- *VIKTORIA HERENC SAR:Geza Allaga - Hungarian Cymbalum Concert (92 作。Quintana) C
- *GAZSA:From Budapest To Kommando C
(“Gazsa”のニックネームで知られる 1980 年代のトランシルヴァニアのフォーク・リヴァイヴの著名フィドラーの Istvan Papp Gazsa 率いる Gazsa の多彩なフィドルが舞うハイ・レベルなハンガリー音楽。英語解説付。2003 作。FolkEuropa)
- *POLGAR LILLA:Szeretet Probaja C
(小鳥の囀りの Polgar 嬢による美しく清々しいハンガリアン・ヴォイスの響き。無伴奏や一人デュエット等も挟みながらハンガリー風コブシ翻る美声が森を駆け抜ける。2002 作。Etnofon)
- *BEKES BANDA:Zsok・Joc C
(副題“Romanian Village Music from Hungary”。1978 年結成のヴェテラン・トラッド・グループによるハンガリー南東部のルーマニア音楽。英語解説付。2001/2004 作。Etnofon)
- *NINCS PUSZTINA BEKERITVE D
(2 枚組。副題“Hungarian Moldavia’s Celebrations and Everyday Life”。クリスマス・ソングや婚礼歌や兵士の歌や季節の歌や葬儀の歌や

子守歌やもちろんダンス音楽などタイトル通りの Katalin&Erzsebet ばあさんふたりの生きた民衆音楽集。英語解説付。2005 作。Etnofon)

- *MOHACSY ALBERT・NAGY ZSOLT:Tizenket Banda C
(Meta のメンバーの Mohacsy {タプルベース、チェロ} と Nagy {フイドル} がゲストを迎えて共演したもの。共演者は Meta をはじめ Muzsikás, Bekecs, Galga, Teka, Tukrus, Galga, Uszturu, Fono, Csik, Berka のグループのメンバーやツィンロン名手 Balogh Kalman 等など。2004 作。FolkEuropa)
*MUZSIKAS・SEBESTYEN MARTA:Hazafele (96 作。Gong) C

[CD/BELARUS]

- *KRIWI:Past&Present C
(ベラルーシのトラット・バンド。北欧のサミのような呪術性にウクライナの騎馬民族的躍動性にアラブ風変拍子多様な魔性にヨーロッパの中世音楽の祭祀性と優美性等多様な音楽性は底知れぬ深さ。他の国のトラット・バンドとは比較できない魔力と魅力がある。1998~2003 年の収録曲からの編集 CD。2004 作。Orange World)

[CD/KLEZMER, GYPSY, BALKAN 他]

- *THE BALCONY PLAYERS:Around The World C
(世の中面白い連中がいるもんだ。Balcony Players は二姫三太郎の多国籍グループで、二人の姫はオランダ人で、三太郎の方は米国人、ベルギー人そしてペルー人。五人全員がヴォーカルで楽器編成はヴァイオリン、ギター、アコ、ダブルベース、パーカッション。彼らの音楽はひと言で言えば、現代のロマ{ジプシー}音楽。クレズマー/ユダヤ音楽をベースに東欧~バルカンの香りのする音楽をセンスよく軽やかに生き活きと演奏し、うたいもする。彼らは世界を回って演奏する中で、土地土地の民謡を学んだという。路上で鍛えた澁刺とした笑顔の音楽だ。遊び心もありませ。そうそう遊び心は音楽だけじゃなく、ジャケットにも。開くとびっくり??? 2015 作。Balcony Players)
*EARTH WHEEL SKY BAND:Trans Romano C
(セルビアのロマ{ジプシー}音楽バンドの豪勢なジプシー音楽。バンドのリーダーでヴォーカルの Vince Olah はセルビアのジプシー音楽シーンでカリスマ的存在らしく、Vince の魂を鼓舞するヴォーカルにも圧倒されるが、まるで全ジプシー音楽の魂と多様な音楽とを一身に背負ったかのようなアラブ=地中海~バルカン音楽的スケールの醍醐味あるお祭り音楽は物凄い。アルバム・タイトルは“Trans Romano”が正しいが、表紙は“Trans Rromano”となっている。2009 作。ホーランド Tylkomuzyka)
*NOA:Classic Noa. The Israeli Songbook C
(Noa が過去 50 年のイスラエルの文化等からイマジネーションを得て作詞作曲した歌集。言葉はヘブライ語。オーケストラを中心にした壮大な音楽の中、Noa は舞い踊るようにうたっている。2013 作。Pinorekk)
*DANIEL KAHN & THE PAINTED BIRD:Lost Causes B
(バンド・リーダーの D. Kahn はカリスマ性があり、中々のツワモノ。主に 100 年~200 年前にユダヤ人がうたった唄を掘り起こし、ある時はマシコリックに、ある時は夢うつつに、ある時は民族意識高く朗々とまたある時は

祝祭ムードたっぷりに、D. Kahnの渾身のヴォーカルを中心に多彩な色彩
感覚&音楽感覚で魅力的なクレズマー音楽を創作する。Adrienne
Cooper, Brave Old WorldのMichael Alpert等がゲスト参加。本作は
音楽賞を授賞。2011作。Oriente Musik)

*SOLFRID MOLLAND:Katedral For Tapte Drommer B

(ロシア民謡やジプシー音楽を聴いて育ったというルウェーのジプシー音楽シ
ンガーの本作は、ジプシー楽団のTaraf De HaidouksやPascal De
Loutchek {ギター}やIonut Guluna {ヴォーカル}やHayden Powell {トランペ
ット}やJo Skaansar {コントラバス}のジプシー音楽の名手達との共演作。
ジプシー音楽を「ヨーロッパのブルース」と呼ぶSolfridの唄は、ジプシー音楽
の故郷に回帰するかのようにノスタルジックで憂いが感じられるもの。
2011作。KKV)

*URBAN TUNELLS KLEZMERBAND:In Der Fintster C

(ルウェーの男性5人組クレズマーバンド。Klezmatiksがクレズマー音楽の伝統
と精神を重んじ、創作意欲盛んなのに対し、こちらはクレズマー音楽の
音楽性に限界を設けず、ジャズやロックやタンゴ等を自在に盛り込み、
また唄はTom Waitsのようなダミ声で演技的にうたう。型に囚われ
ないネットワークの軽い独創性に溢れてはいるが、唄にはクレズマー音楽の
心が執念深くうたい込まれている。クレズマー音楽の、ある意味進化
形。2011作。Curling Legs)

*CACI VORBA:Tajno Biav B

(ワールド・ミュージックシーンに突如現れたポーランドのジプシー/バルカン系グルー
Paci Vorbaの二作目。ブルガリア、ルーマニアそしてロシアのジプシー音楽を、
その音楽の心を体内に染み込ませ、その上でワールド・ミュージック感覚の
柔軟かつ幅広い音楽性を持った魅惑の音楽のもと、Mariaは舞い踊
るよううたう。まるで東欧の深い不思議の森へと誘われるよう。
2011年、ワールド・ミュージックのベスト・アルバム。2011作。Oriente Musik)

*HAPELUSH:Hapelush C

(オーストリアの男性三人組一応クレズマーグループ。ギターとコントラバスはジャズの
センスを持ち込み、クワリネットはクレズマーの香りを立てる。スウィング・クレズマ
ーとでも名付けた知的でいおしやれ感のあるセンス抜群のクレズマー風音
楽である。酒場なんかで聴いたら、すぐに酔いそう。2009作。
Extraplatte)

*MAZZELTOV・ROLINHA KROSS:Amsterdam C

(Rolinhaをヴォーカルに迎えたヴァン・クレズマーバンドのMazzelton
は凄い。即興性のある「あうん」の息は、ヴァン・ジャズ・ミュージシャンの
即興演奏のようでもある。Mazzeltovのクレズマーヴォーカルの真髓的入
魂のヴォーカルはある種霊的でもあり、唄の情感・情緒は深い。2008作。
Frea)

*WUPPINGER & L'ORCHESTRA EUROPA:Le Grand Rouge C

(ギター奏者のFrank Wuppingerが率いる男6人組ジプシー=東欧音楽を
中心に汎ヨーロッパ規模の異種交配というか異種珍々音楽グループ。楽
器編成はギター2台、アコ、ヴァイオリン、ベース、パーカッション。核を成す音楽はジ
プシー・ギター音楽で、エキゾチックさやノスタルジックさを楽しむスタイル。2007作。
Laika)

*KLEZMIC ZIRKUS:Vitamine C

- (ベルギーの5人組クレスマーバンド。楽器編成はクラリネット、アコ、エレキギター、トロンボーン、チューバ、エレキベース、ヴァイオリン、トランペット、パーカッション、サックス等。実験的で挑発的なクレスマー音楽を創作。ある種クレスマー音楽最前線。2007作。Home)
- *STRICAT: Jab B
(オランダの異色のバルカン音楽グループ【トリオ】。楽器編成はトランペット、アコーディオン、ティンパロン。バルカン音楽なのだが、ジャズっぽいバルカン音楽というか音楽する発想が自由で、それぞれの楽器が遊ぶ感じで、どこかおどけた感じの音楽。楽器と楽器がおしゃべりし、時々笑わせたり、気まぐれにスキップしたり、真面目に遊ぶ音楽。2009作。Karnatic)
- *KALI GERCHEN: Kaj Te Zav Kam Ist B
(スロヴァキアのジプシートリオに Zanita Stipakkova という女性シンガーがゲスト参加のギター一本の伴奏の唄中心のジプシー音楽。唄のほとんどはロシアの伝統歌で、Zanita のヴォーカルをフィーチャーし、男性ヴォーカルがハーモニーする彼らジプシー音楽は、どちらかと言えば、スペインのジプシー音楽に近い。2008作。Pavian)
- *BALKANBEATS VOLUME 3 D
(ニューヨークのラテン・ユダヤ・ジプシー・ジャズ・アメリカン・ルーツごちゃ混ぜでアビックに妖艶なバルカン・ビートバンドの Slavic Soul Party を皮切りにとびつきり活きの良いのが15バンドも。刺激的。Eastblok)
- *CHERNO MORE: Grabacion En Dreeto B
(Nasco Kristov【アコ】、Ivo Kristov【各種笛】のブルガリア人二人とアラブ系アフリカ人の Wafir【ウード】のトリオ。ブルガリア人二人による民族色を強く打ち出したエキゾチックなバルカン音楽と Wafir のウードをフィーチャーした魂の響きとでも言いたいような魂揺さぶる民族色豊かな悠久の音楽。2007作。Almoukri)
- *DEN FLYGANDE BOKRULLEN: Shuff! B
(スウェーデンの6人編成のクレスマーバンドの3枚目。「クレスマーのパンク・ロッカー」と言われる彼等の音楽はホンが3台とサックス&クラリネット【同じ奏者】が1台の4台の吹奏楽器が炸裂するまるでバルカン・ビートバンドのような祝祭的クレスマー。クレスマー・サウンドが鞠のようにぼんぼんバウンドし、転げる。世界で最もハッピーなクレスマーバンドかも。2007作。Arko)
- *63 STRINGS: 63 Strings B
(イタリアのジプシー・ジャズのトリオにアメリカ人ハープ奏者の Park Stickney がゲスト参加のジプシー・ジャズ音楽。9曲中8曲が Django Reinhardt の曲で Django のジャズとジプシー音楽とのフュージョンを即興的に演奏。2006作。FolkClub Ethnosuoni)
- *CIGANYOK "A Karpat-Medenceben" C
(“Gypsies In The Carpathian Basin”。2004作。Etnofon)
- *BEN-CANAR: Nodudai C
(イスラエルとシリアの国境の町に住むユダヤ人作曲家でサズ、ウード、ギター奏者でシンガーのポラントとロシアのポラント【家族の故郷】やバルカンなど様々な地のユダヤ音楽やシリアの喉歌や中世音楽などにインスパイアされて作曲した曲をリエンタルムト漂うサウンドとシンキングで、時を超え、土地を超え、夢の旅をする。2002作。Orange World)
- *BRAVE OLD WORLD: Bless The Fire (2003作。Pinorrek) C

- *THE KLEZMATICS: Jews With Horns (94 作。Pi'ra:nha) B
 *JOKKE SCHREURS TRIO: Jokke Schreurs Trio B
 (ジプシー・スウィング・トリオ。2001 作。Wild Boar Music)
 *THE KLEZMER CONSERVATORY BAND: A Taste Of Paradise A
 (2003 作。Rounder)
 *JOAQUIN DIAZ: El Alma Es Dulce D
 (18 曲入 CDブック。ブックは普通と違って和紙も使われたアート感覚あふれるもの。音楽はセファルディイ{スファラディ}。これぞ J. Diaz の唄! のそれぞれの唄の世界に思いを馳せた柔らかな唄達。w. Luis Delgado, Javier Coble, Diego Galaz, Jaime Munoz, Cuco Perez。2001 作。tf.media)
 *KROKE: The Sounds Of The Vanishing World B
 (99 作。Oriente Musik)
 *PJOTR LESCHENKO: 1931 A
 (副題“Gypsy Songs&Other Passions”。97 作。Oriente Musik)

[LP/JEWISH, GYPSY他]

- *ANGEL CARRIL: Kerensya Sefaradim ¥1980
 (LP です。倉庫で発見。副題“Musical Tradition of Spanish Jews”。90 作。スペイン Saga)

[CD/ISRAEL]

- *LA FLUTE D'ISRAEL “Reviyat A Markidim” ¥1500
 (英題“Flute Of Israel”。Buda Musique)

[CD/KURDISTAN]

- *NIZAMETTIN ARIC: Azadi A
 (30 年もの間、国外で流浪生活を送る大物クルド人伝統音楽歌手の Nizamettin の本作は平和、平等、祖国愛を詩に詠んで来た二人のクルド人詩人の詩に Nizamettin が曲を付けてうたったもの。音楽はアラブ音楽的情感が沸き立ち、Nizamettin の唄はどっしりとして、ゴッソをゆっくりと回す。その確固たる歌唱の素晴らしさは肩を並べる民衆音楽歌手を見つけるのが困難なほど。魂の唄。2011 作。Kalan)

[CD/LEBANON]

- *FARID ELATRACHE: Farid Eltrache A
 (90 作。Voice Of Lebanon)
 *FARID ELATRACHE: The Best Of Farid El Atrache A
 (うぐ。90 作。Voice Of Lebanon)

[CD/ALGERIA]

- *CHEIKH RAYMOND: Anthologie 1937-1961 D
 (アラブ人に愛されたユダヤ人音楽家で、アラブ・アンダルシア音楽の巨匠シェイク・レモン{1912 年生まれ}の 3 枚組ボックスセット。シェイクが、インコ・マシアスの父シルヴァン・ゲラツァと設立したレコード会社 Raysylophone の貴重音源からの全 20 曲。ディスク 1 が 1937~1954 年、ディスク 2 が 1958~1959 年、ディスク

ク3が1957~1961年の録音。シエウはウードの技で、20歳の若さで、「マスター」と称されたという。初CD化。ウードの弾き語りを中心にした素朴なアラブ・アンダルシア音楽はルーツの味わいに満ちている。P50の解説書付。2011作。Universal)

- *WARDA:A L'Olympia Vol. 2 A
(フランス生まれのアルジェリア人歌手 Warda の歴史的録音盤。92作。Club Du Disque Arabe)

[CD/MALI]

- *BASSEKOU KOUYATE & NGONI BA:Ba Power D
(マリのンゴ二奏者の Bassekou Kouyate と自身のバンド“Ngoni Ba”の4枚目。メンバーは、Bassekou Kouyaté {リト・ソングニ}, Abou Sissoko {ミディアム・ソングニ}, Mamadou Kouyaté {ヘース・ソングニ、ハッキング・ヴォーカル}, Moctar Kouyaté {ひょうたん=打楽器}, Mahamadou Tounkara {パーカッション}, Bina Diabaté {ミディアム・ソングニ}、そして Bassekou の奥さんの Amy Sacko {リト・ヴォーカル}。アフリカ音楽のみならずワールド・ミュージックの分野で最高レベルの音楽。今年の世界・ミュージック部門でベスト・アルバムになることは間違いない。ンゴ二・バンドのパーカッシヴなサウンドと Amy のソウルフルなヴォーカルの超絶さは、もの凄い。2015作。Glitterbeat)

- *ARNALDO ANTUNES・EDGARD SCANDURRA・TOUMANI DIABATE
:A Curva Da Cintura C
(コラ奏者の T. Diabate とブラジルのシガーの A. Antunes とブラジルのギター奏者の E. Scadurra とによるマリとブラジル音楽の折衷音楽。ブラジル人お二人さんの音楽に即興的に割り込む Toumani の演奏が素晴らしい。ゲスト:Sidiki Diabate {コラ}, Safiatou Diabate {ヴォーカル}。2012作。Mais Um Discos)

- *SAMBA TOURE:Crocodile Blues B
(西アフリカの伝統音楽色濃厚に打ち出した革新的ギター奏者 Ali Farka Toure の精神とギター・スタイルを受け継ぐマリのシガーでギター奏者の S. Toure の二枚目。絶品。2011作。Riverboat)

- *SAMBA TOURE:Songhai Blues B
(副題“Homage To Ali Farka Toure”。マリの伝統音楽のメロディとリズムを我が物としてかき鳴らす彼のギターは超絶。2009作。Riverboat)

- *JAYME STONE & MANSA SISSOKO:Africa To Appalachia B
(マリのケリオでコラ奏者の Mansa とハンゾー奏者の Jayme のコラボ。全13曲。2008作。Jayme Stone)

[CD/SENEGAL]

- *SECKOU KEITA:22 Strings C
(ウエールズのハーブ奏者の Catrin Finch との“Clychau Dibon”に次ぐ、南セネガル出身のコラ奏者の Seckou Keita の完全ソロの新作。Seckou の母親の Fatou Bintou の母親の Jali Kemo Cissokho は、セネガルで最も著名なグリーオで母方は家族全員がグリーオ。世界の民族楽器の中でもコラの音色の美しさはトップクラスだ

が、本作はコラの音楽の中でも、その美しさがずば抜けている。単に美しさを追求した音楽ではない。音楽の核にあるのは、グリーオの祈りの音楽。音楽が美しく、本当に深い。ジャンルを超えて感動的。豪華ハードカバー装丁のCDで、P40のブックレット付。2015作。ARC Music)

- *LAYE SOW:Djamano A
(北セネガルのFulaのシガーでギター奏者で唄のほとんどはFula語。唄の響きはグリーオに近いし、Layeのギターもコラの響き。そこにRichard Caswellなるギター奏者がスライド・ギターでブルースの香りを注ぐ。兄弟の音楽のように流れのままにナチュラルに響演してるのが気持ちいい。2004作。ポ・ラント Orange World)

[CD/GUINEA]

- *DJELI MOUSSA CONDE:Womama B
(滞仏20年のギニア人グリーオでコラ奏者でシガーのDjeli Moussa Condéの新作で通算二枚目。本作はルツン・マンテラ[1918年 - 2013年]に捧げた“Mandela”など広く「アフリカ」に捧げたアルバム。彼がギニアに留まっていたら、これほど創作的なグリーオ音楽はあり得なかった。白人演奏家達との共演による本作は、アフリカ音楽からテン音楽までの幅で音楽の幅が広く、コラ奏者として西アフリカのグリーオの音楽をどのグリーオの音楽よりもカラフルでトピカルでジャンプ力のあるワールド・ミュージックに仕上がっている。Djeliのコラの演奏もグリーオ風朗唱もリリィで、最高に輝いている。2015作。Buda Musique)
- *MAMADOU DIABATE:Behmanha B
(お祖父さんの演奏で育ったという曲がタイトル[グリーオが王の為に演奏された曲]の本作はグリーオの曲や地域の伝承曲を伝統的コラ演奏を保持しつつ独自の奏法で演奏したピュアなコラ音楽。2004作。T&M)
- *MORY KANTE: Sabou B
(西アフリカのコラの第一人者。本作は全面アコースティックの伝統的グリーオの伝統音楽に帰ったもので、コラとバラフォンを要にしたカラフルなリズムとMoryと女性シガーとのユーモラスな掛け歌はすこぶる快感。ヴォーカルを含め様々なサウンドが踊るように響き合う。素晴らしい！2004作。Riverboat)

[CD/CAMEROUN]

- *SALLY NYOLO:Tribu ¥1780
(World Music的に音楽的にレベルの高いSallyの民俗的かつ呪術的唄とコラ&レスポンスそしてホップで民俗色濃厚な音楽。Coeurdelion)

[CD/MOZAMBIQUE]

- *MUSIC FROM MOZAMBIQUE (スウェーデンCaprice。2001作) B
*WAZIMBO&ORCHESTRA:NwahuIwana B
(CD-ROM機能付CD。カラフルな大衆音楽だ。ポルトガル音楽の上にブラジル音楽、カブ音楽、スークそれにロックまで食欲に呑み込み、エネルギッシュでダンス的な大衆音楽を生み出している。ダンサーが4人も付いてりやー、音楽も飛び跳ねるなあ。CD-ROMはタイトル曲のライブ・ビデオ。2001作。トイPira:nha)

[CD/MADAGASCAR]

- *WORLD BEAT VOL. 7 "Madagascar" ¥1680
(16曲入編集CD。フランスCelluloid)
- *MADAGASCAR ¥1680
(副題"Music of Madagascar—Rossy, Tselonina, Mahaleo, Matrimbala, Justin Vali&Lolo Sy Ny Tariny"。93作。ドゥイWorld Network)

[CD/VENEZUELA]

- *SON DE CHUAO:Sabor A Cacao B
(副題"Afro-Caribbean Percussion Music and Dance from Venezuela's Cocoa Coast"。2000作。Pan)
- *OSCAR D' LEON:Live ¥2940
(カリブーラテン・アメリカの最大のスター、Oscar D' Leonのアムステルダムでのライブ。キューバの名曲を中心にした全10曲。ホンバ)

[CD/BRAZIL]

- *MARIA BETHANIA:Encanteria B
(「魅惑」の意のブラジルを代表する歌姫マリア・ベターニアの本作はオリジナル盤は2007年作のよう。守備範囲外の南米音楽だが、Mariaの優しく包容力あるヴォーカルといい、ラテン・ムードたっぷりな上質の大人の音楽といい、ブラジル大衆音楽として格別極上の味わい。スペインDiscmedi)

[CD/USA, MEXICO, CANADA, FRANCE, SPAIN]

- *LHASA:Living Road A
(fRootsベストアルバム2005の2位。父親がチベット人で母親がアメリカ人で現在カリフォルニアに住み、英語、フランス語、スペイン語で唄うという魅惑の不思議女性SSW。Lhasaはスペイン、メキシコ、ラテン、ジャズ等の文化的音の香りを香らせながら、例えばLeonard Cohenのような語り口でドラマティックに唄う。2004作。Sodec)

[CD/CHINA]

- *プリシラ・チャン:ラスト・ライヴ ¥2625
(以前販売した2枚組CDを棚で発見。香港で人気ナンバーワンの歌姫プリシラ・チャンの引退記念ライブ。89作。ドラゴン・レコード)

[CD/VARIOUS COUNTRIES]

- *LIVE AT THE CEDAR "Visionaries" ¥1500
(年に150-200回のライブを行なっているというアメリカはミネソタのライブハウスでのライブ集。世界各地からの出演者でそれぞれが個性的。収録順にBaaba Maal, Mari Boine, Cesaria Evora, Gillian Welch, Doc Watson, Dave Van Ronk, La Bottine Souriante, Liam O'Flynn& Arty McGlynn, Martin Sexton, Loudon Wainwright III, Koerner-Ray&Glover, Greg Brown, Ani DiFranco, Ali Farka Toure, Bill Frisell。2007作。Cedar Cultural Center)